

加賀市
日常生活圏域ニーズ調査
調査結果報告書

平成 29 年 10 月

加 賀 市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	日常生活圏域ニーズ調査	2
	(1) 回答者属性	2
	(2) 質問回答	3
	(3) 生活機能評価等に関する分析	36

I 調査の概要

1 調査の目的

要介護状態になる前の高齢者の「悪化につながるリスクの発生状況」「社会参加状況」「社会資源」の把握及び「要介護度の悪化に影響を与える日常生活の状況」を把握することで、地域診断への活用、地域課題の特定をし、第7期介護保険事業計画に反映させることを目的とし、また、介護保険事業計画策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

70歳以上の高齢者（要支援・要介護認定者、事業対象者は除く）

3 調査期間

平成29年6月13日から平成29年12月28日まで

4 調査方法

- ・郵送による配布・回収

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
日常生活圏域ニーズ調査	11,997通	7,380通	61.5%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数(N)を基数とした百分率(%)で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）

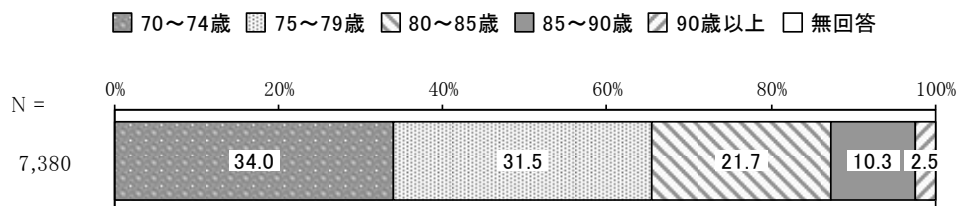
II 調査結果

1 日常生活圏域ニーズ調査

(1) 回答者属性

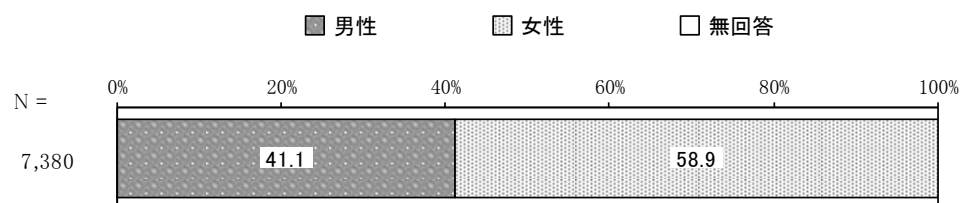
年齢

「70～74歳」の割合が34.0%と最も高く、次いで「75～79歳」の割合が31.5%、「80～85歳」の割合が21.7%となっています。



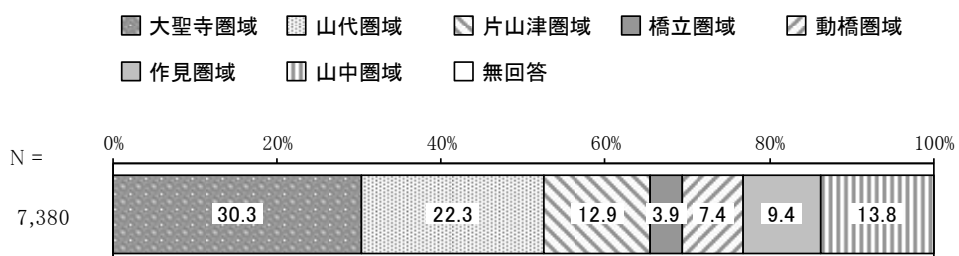
性別

「男性」の割合が41.1%、「女性」の割合が58.9%となっています。



圏域

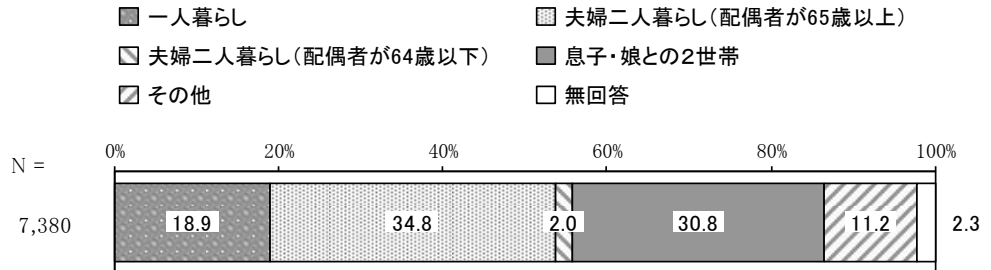
「大聖寺圏域」の割合が30.3%と最も高く、次いで「山代圏域」の割合が22.3%、「山中圏域」の割合が13.8%となっています。



(2) 質問回答

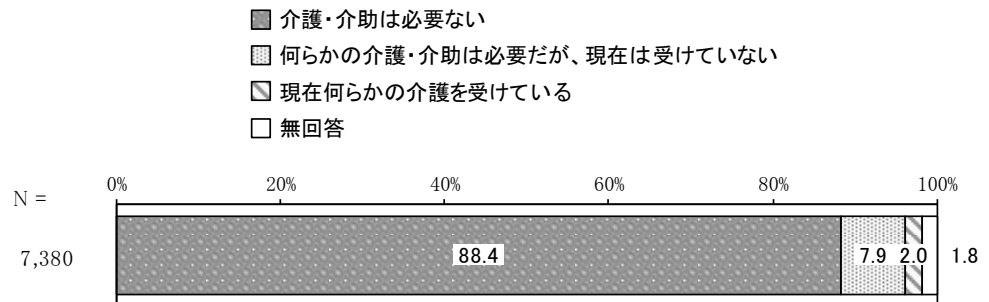
問1 家族構成を教えてください

「夫婦二人暮らし（配偶者が65歳以上）」の割合が34.8%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」の割合が30.8%、「一人暮らし」の割合が18.9%となっています。



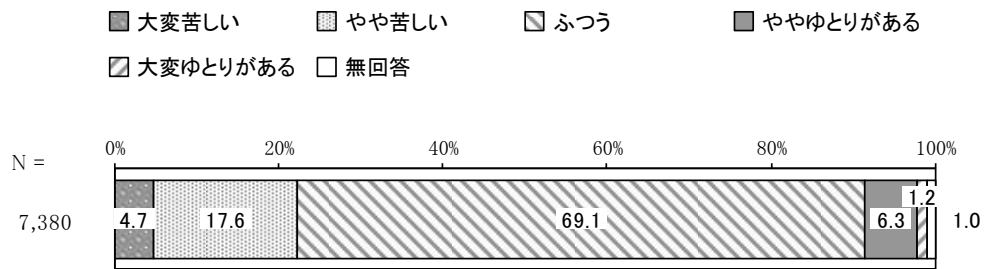
問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

「介護・介助は必要ない」の割合が88.4%と最も高くなっています。



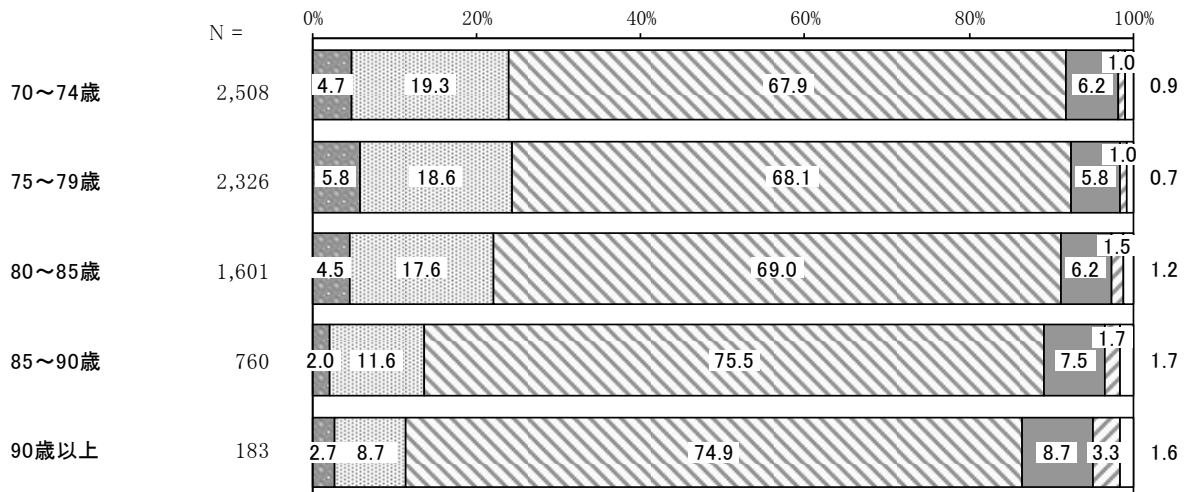
問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

「ふつう」の割合が69.1%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が17.6%となっています。



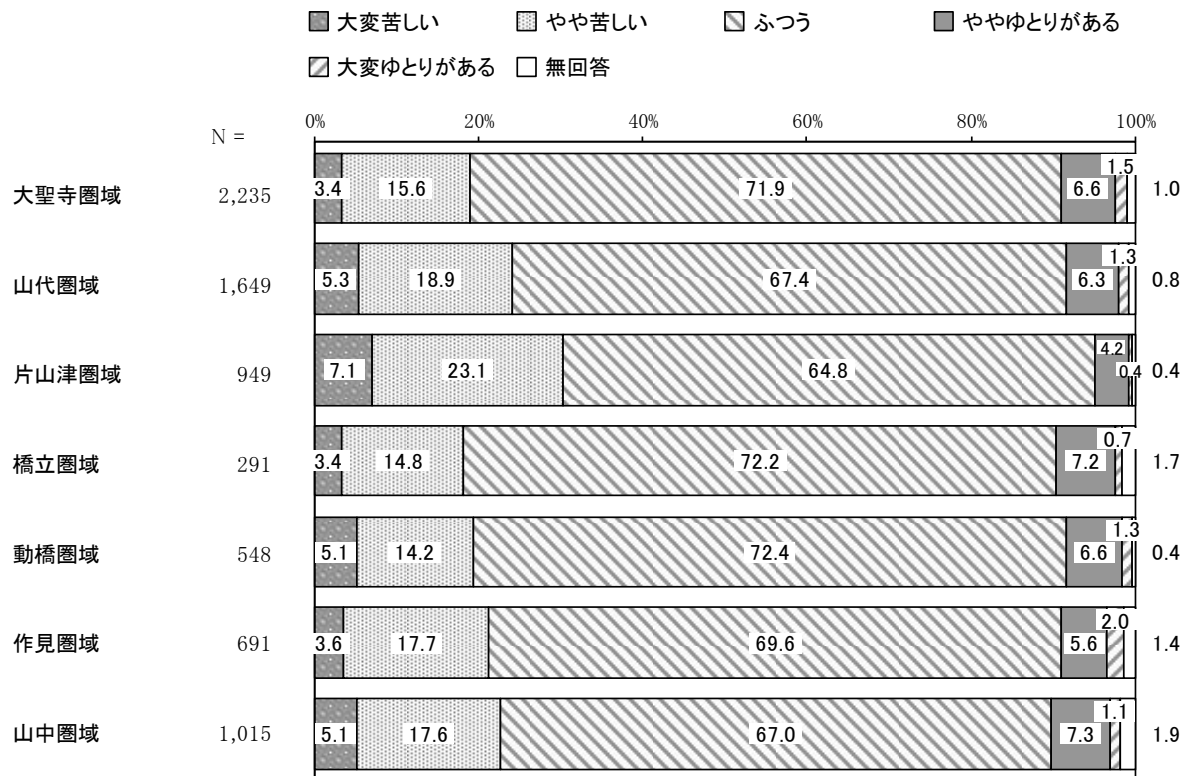
【年齢別】

年齢別にみると、85歳以下で「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた“苦しい”の割合が2割を上回っています。



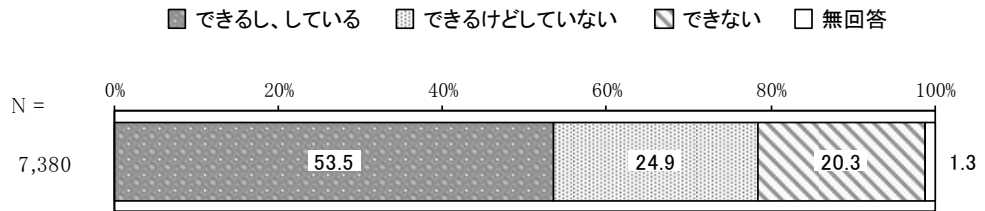
【圏域別】

圏域別にみると、他に比べ、片山津圏域で“苦しい”の割合が高くなっています。



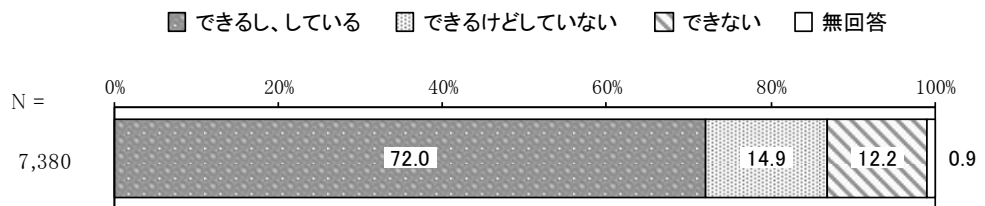
問4 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

「できるし、している」の割合が 53.5%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 24.9%、「できない」の割合が 20.3%となっています。



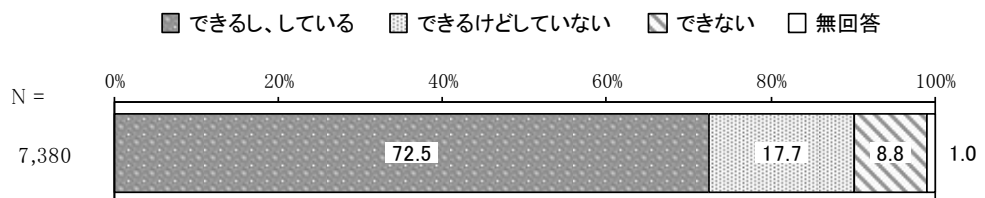
問5 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

「できるし、している」の割合が 72.0%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 14.9%、「できない」の割合が 12.2%となっています。



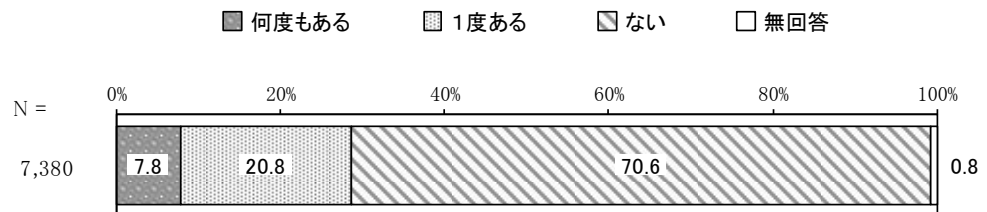
問6 15分位続けて歩いていますか

「できるし、している」の割合が 72.5%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 17.7%となっています。



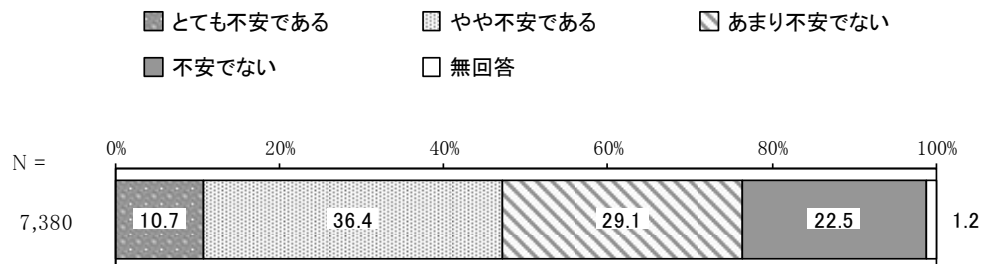
問7 過去1年間に転んだ経験がありますか

「ない」の割合が70.6%と最も高く、次いで「1度ある」の割合が20.8%となっています。



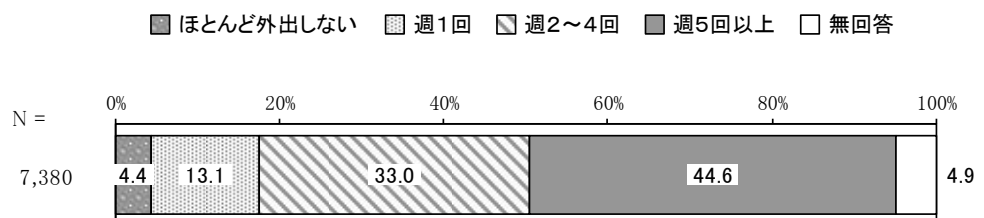
問8 転倒に対する不安は大きいですか

「やや不安である」の割合が36.4%と最も高く、次いで「あまり不安でない」の割合が29.1%、「不安でない」の割合が22.5%となっています。



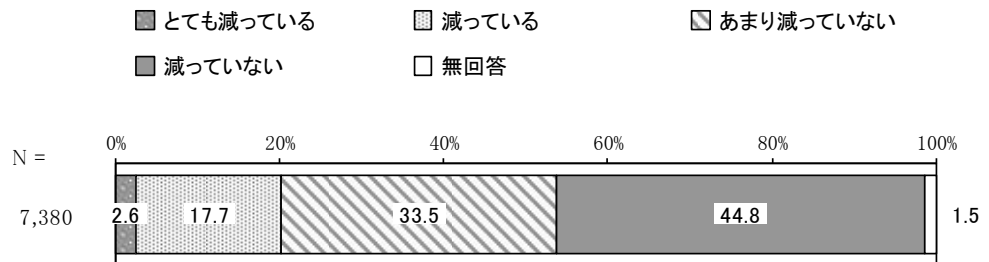
問9 週に1回以上は外出していますか

「週5回以上」の割合が44.6%と最も高く、次いで「週2～4回」の割合が33.0%、「週1回」の割合が13.1%となっています。



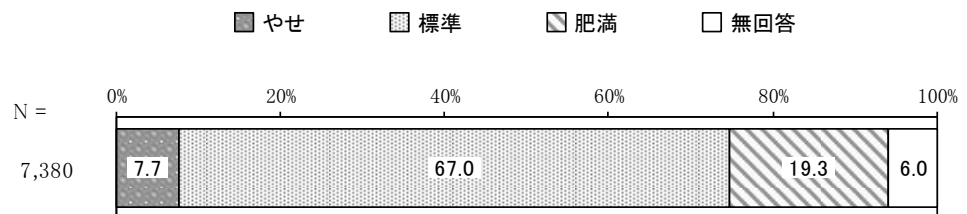
問 10 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

「減っていない」の割合が 44.8%と最も高く、次いで「あまり減っていない」の割合が 33.5%、「減っている」の割合が 17.7%となっています。



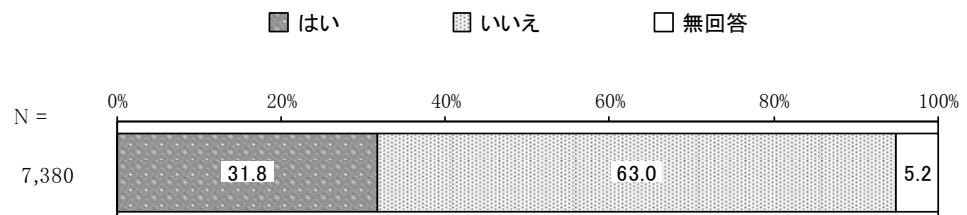
問 11 身長・体重をご記入ください。(BMI)

「標準」の割合が 67.0%と最も高く、次いで「肥満」の割合が 19.3%となっています。



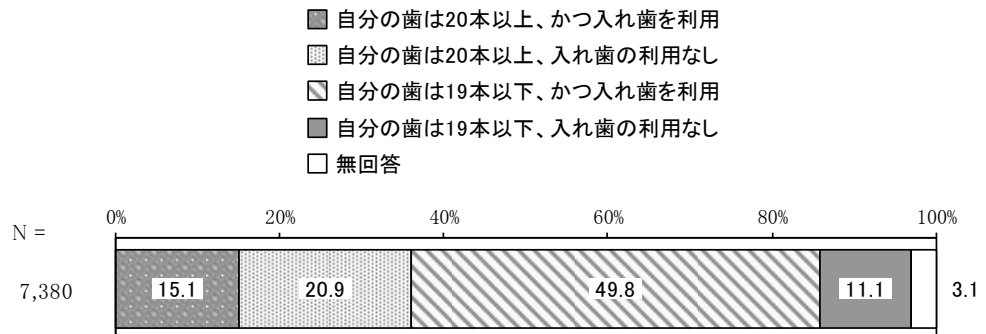
問 12 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

「はい」の割合が 31.8%、「いいえ」の割合が 63.0%となっています。



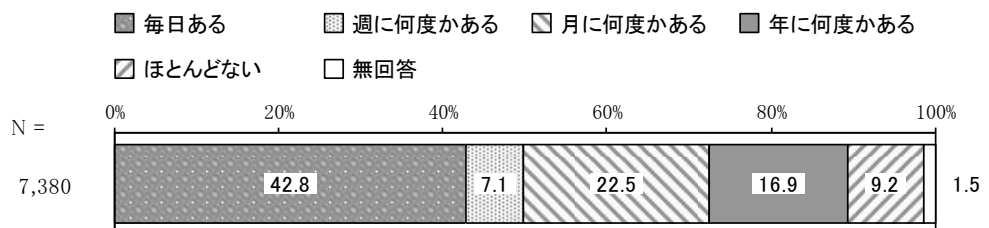
問 13 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください

「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が49.8%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が20.9%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が15.1%となっています。



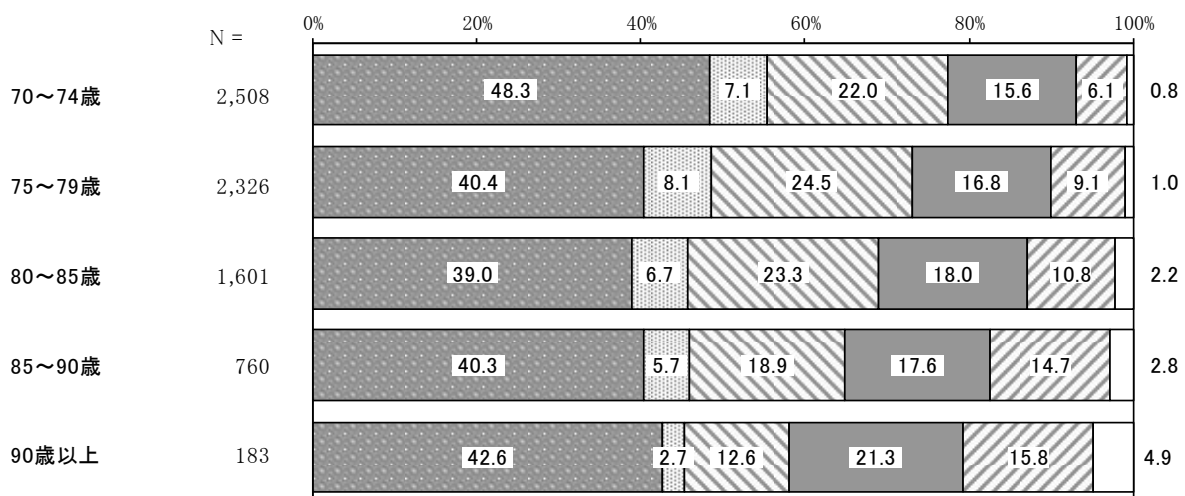
問 14 どなたかと食事をとにもする機会がありますか

「毎日ある」の割合が42.8%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が22.5%、「年に何度かある」の割合が16.9%となっています。



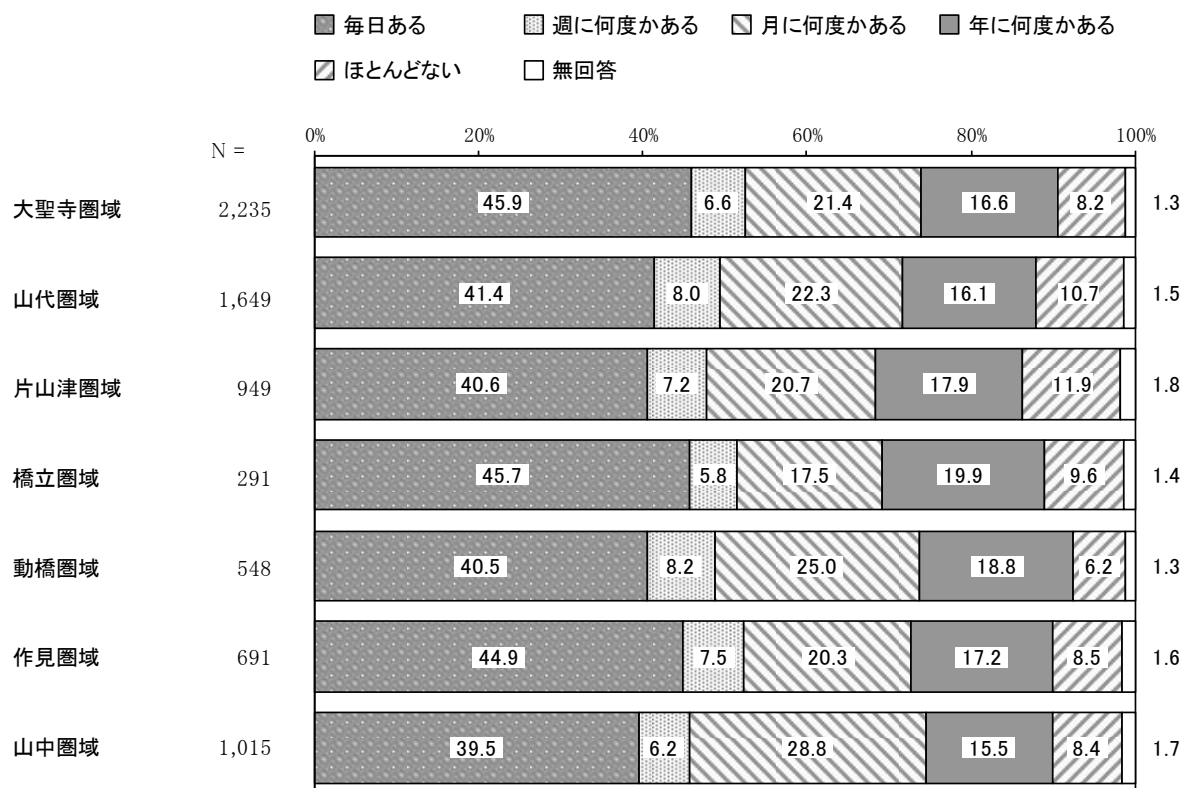
【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、70～74歳で「毎日ある」の割合が高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて、「年に何度かある」「ほとんどない」の割合が高くなっています。



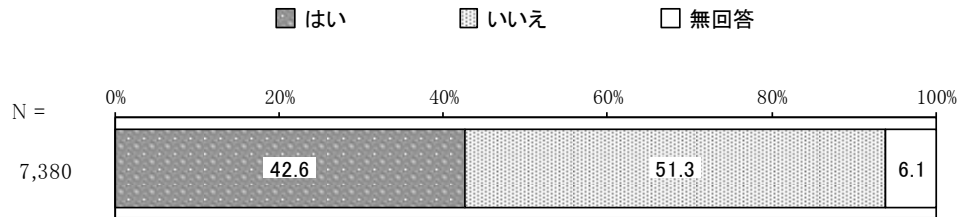
【圏域別】

圏域別にみると、他に比べ、大聖寺圏域、橋立圏域、作見圏域で「毎日ある」の割合がわずかに高くなっています。



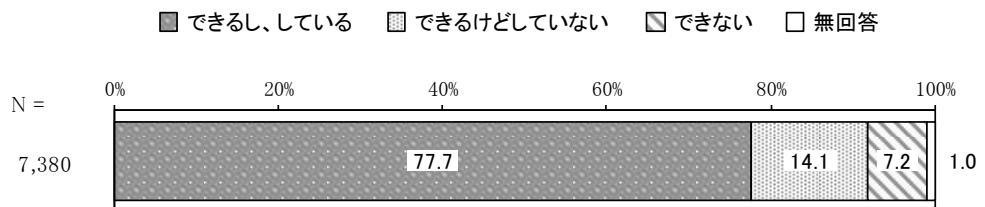
問 15 物忘れが多いと感じますか

「はい」の割合が42.6%、「いいえ」の割合が51.3%となっています。



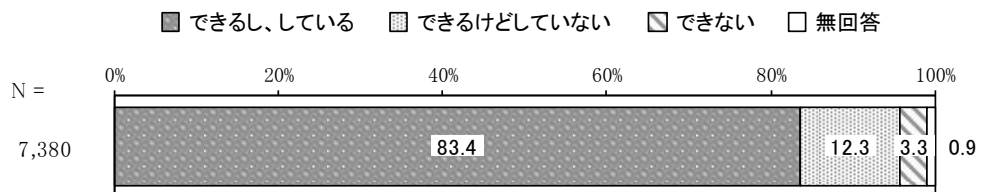
問 16 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）

「できるし、している」の割合が77.7%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が14.1%となっています。



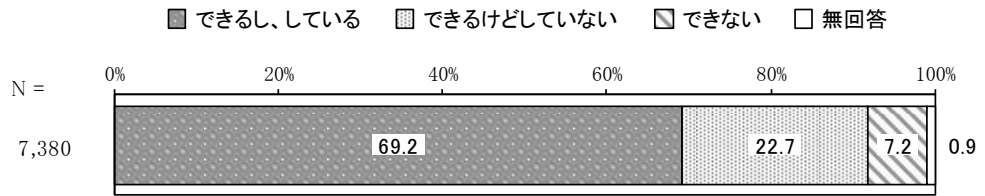
問 17 自分で食品・日用品の買物をしていますか

「できるし、している」の割合が83.4%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が12.3%となっています。



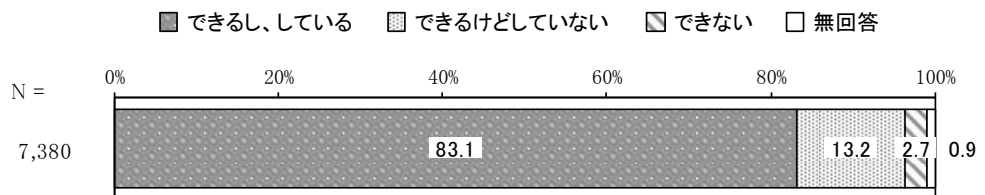
問 18 自分で食事の用意をしていますか

「できるし、している」の割合が 69.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 22.7%となっています。



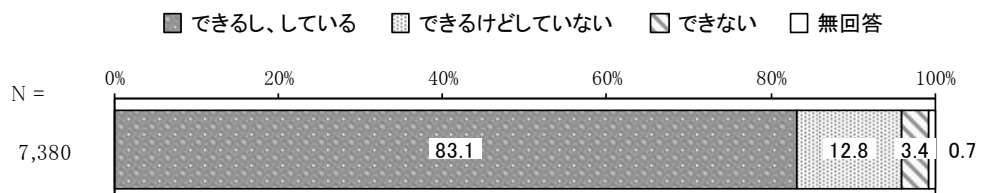
問 19 自分で請求書の支払いをしていますか

「できるし、している」の割合が 83.1%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 13.2%となっています。



問 20 自分で預貯金の出し入れをしていますか

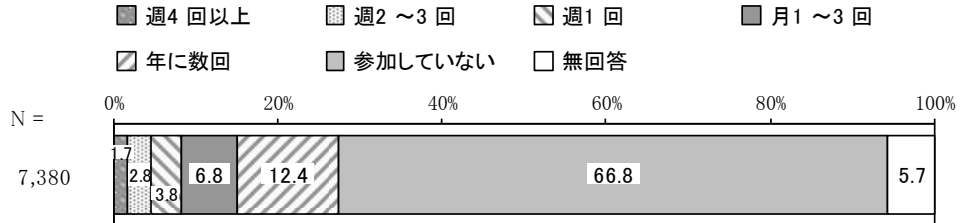
「できるし、している」の割合が 83.1%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 12.8%となっています。



問 21 以下の①～④の会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

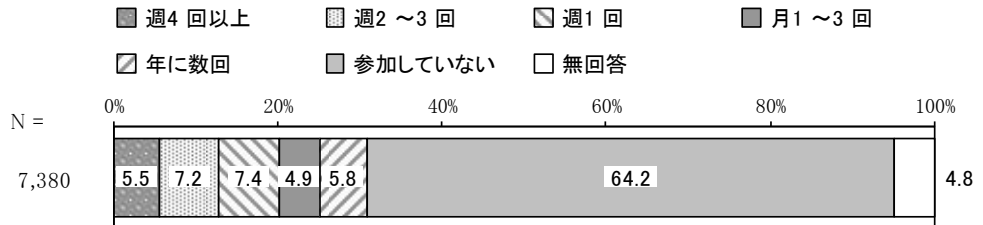
① ボランティアのグループ

「参加していない」の割合が 66.8%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が 12.4%となっています。



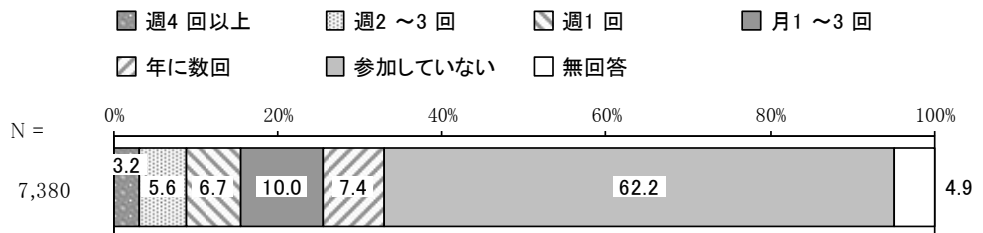
② スポーツ関係のグループやクラブ

「参加していない」の割合が 64.2%と最も高くなっています。



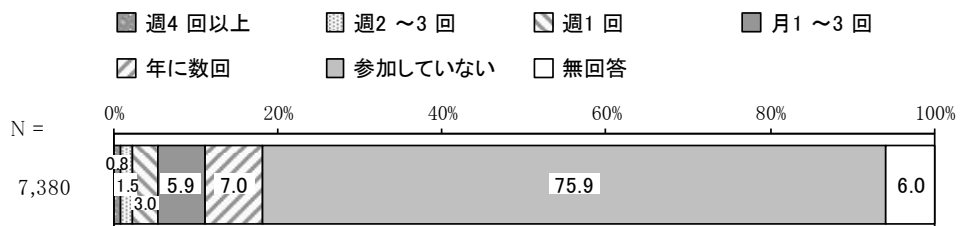
③ 趣味関係のグループ

「参加していない」の割合が 62.2%と最も高く、次いで「月1～3回」の割合が 10.0%となっています。



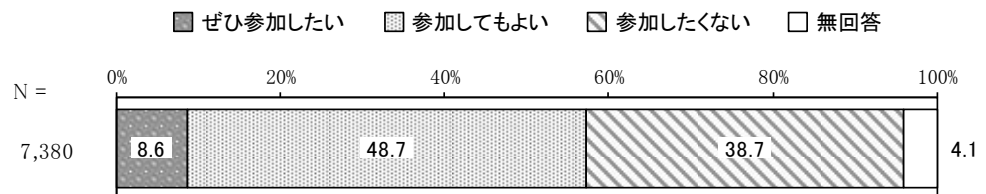
④ 学習・教養サークル

「参加していない」の割合が 75.9%と最も高くなっています。



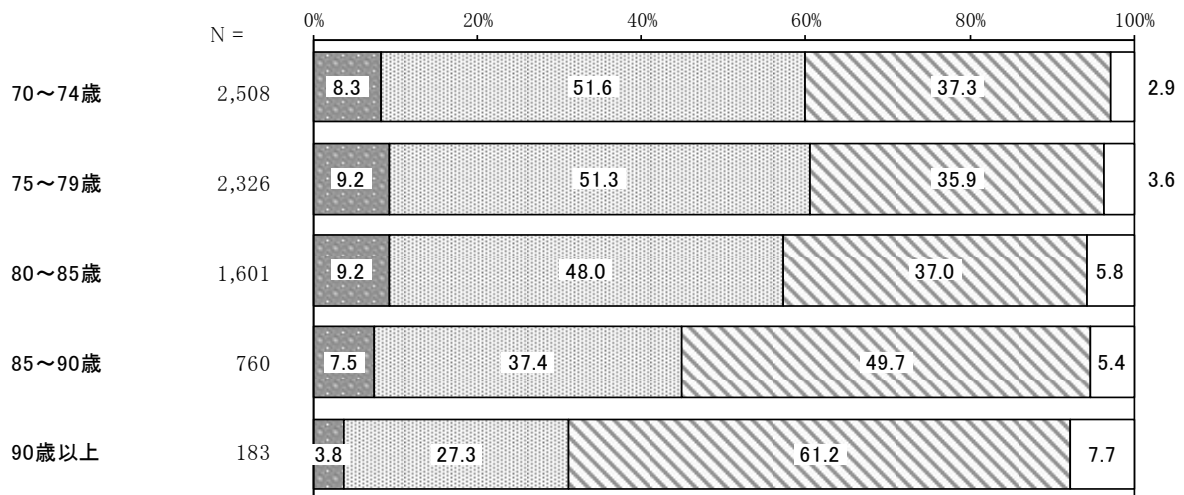
問 22 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

「参加してもよい」の割合が 48.7%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が 38.7%となっています。



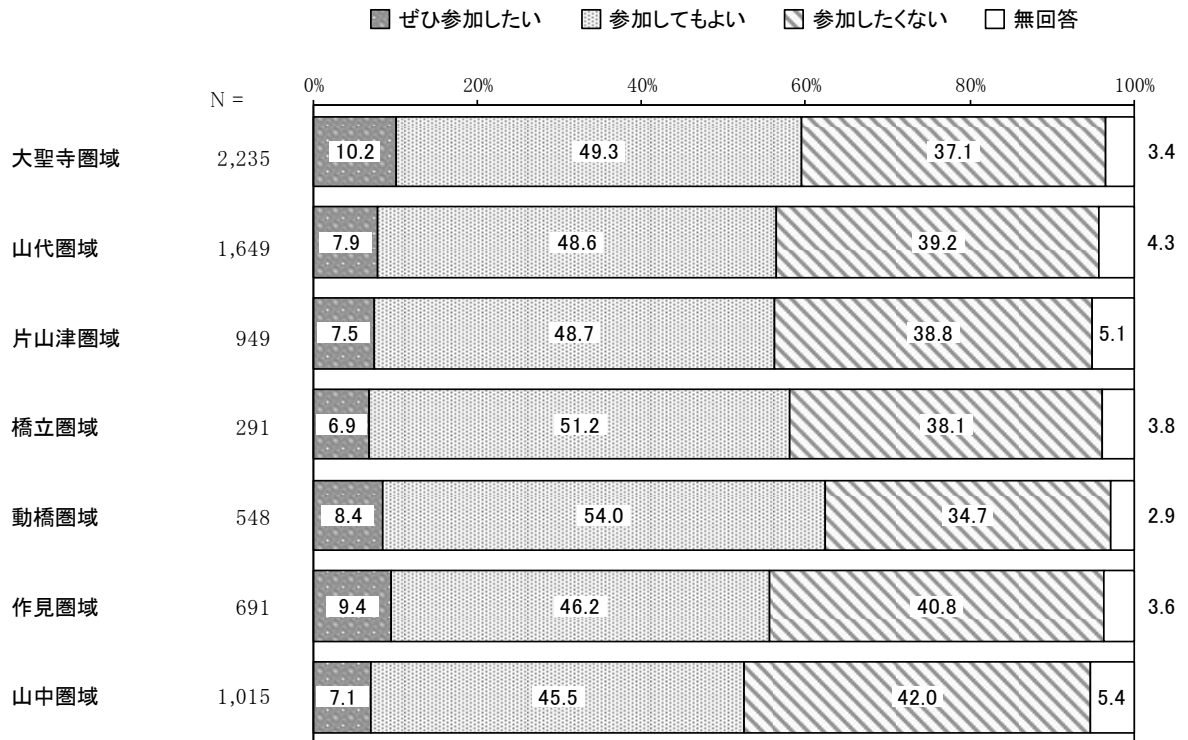
【年齢別】

年齢別にみると、85～89歳以降、「参加したくない」の割合が増加しています。



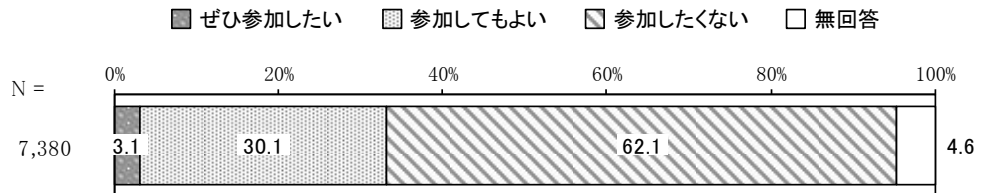
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差異はみられません。



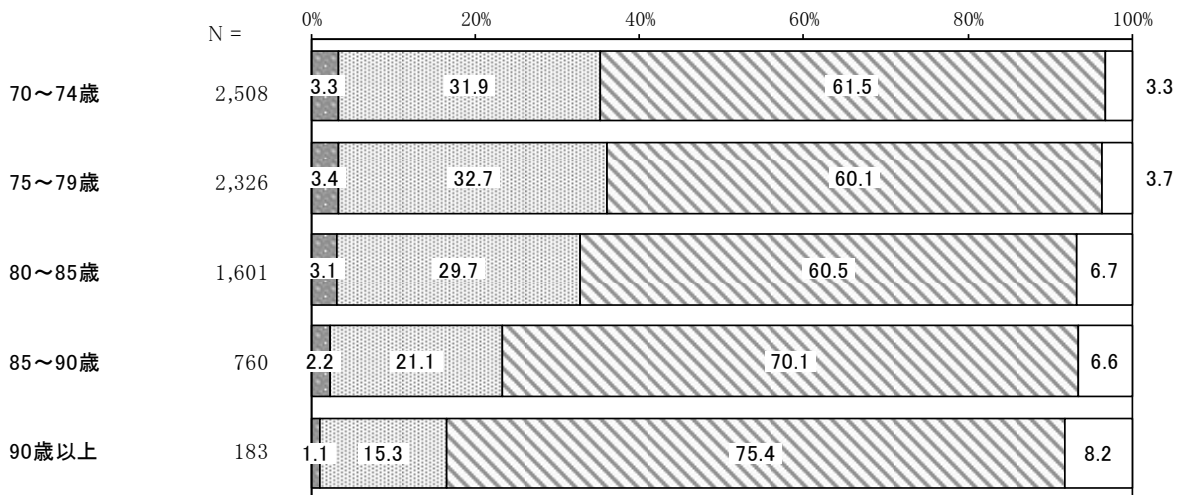
問 23 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

「参加したくない」の割合が 62.1%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が 30.1% となっています。



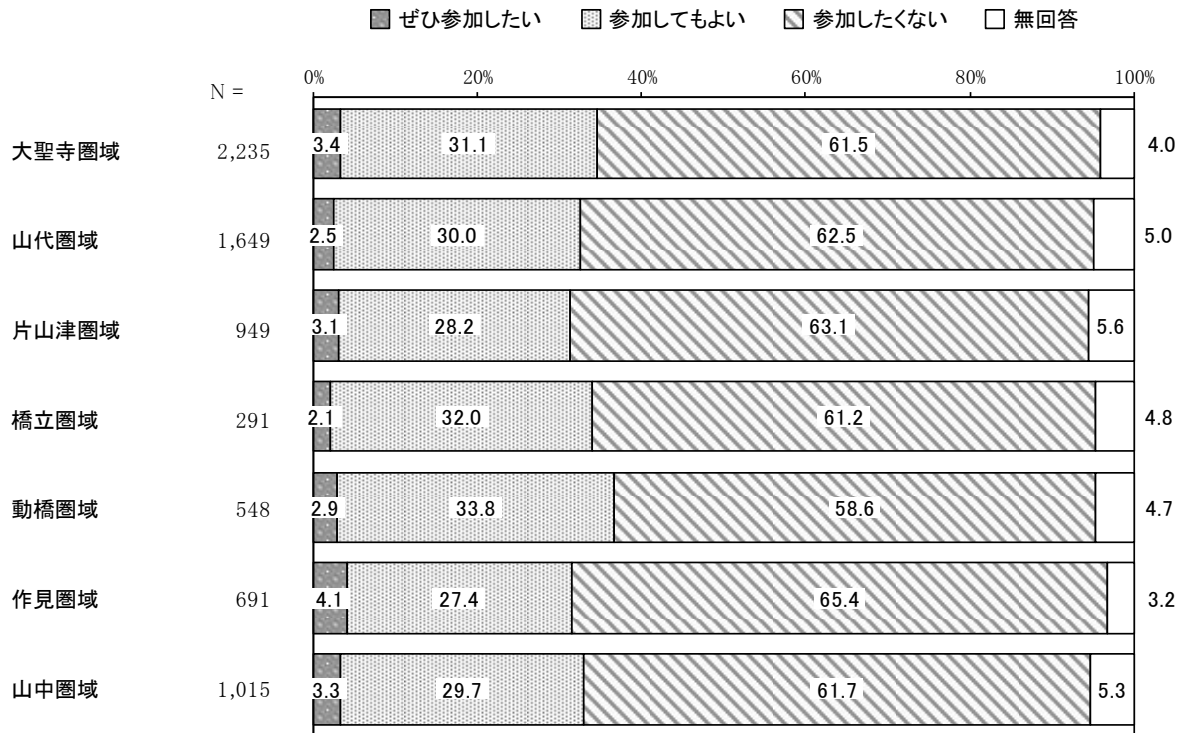
【年齢別】

年齢別にみると、85～89歳以降、「参加したくない」の割合が増加しています。



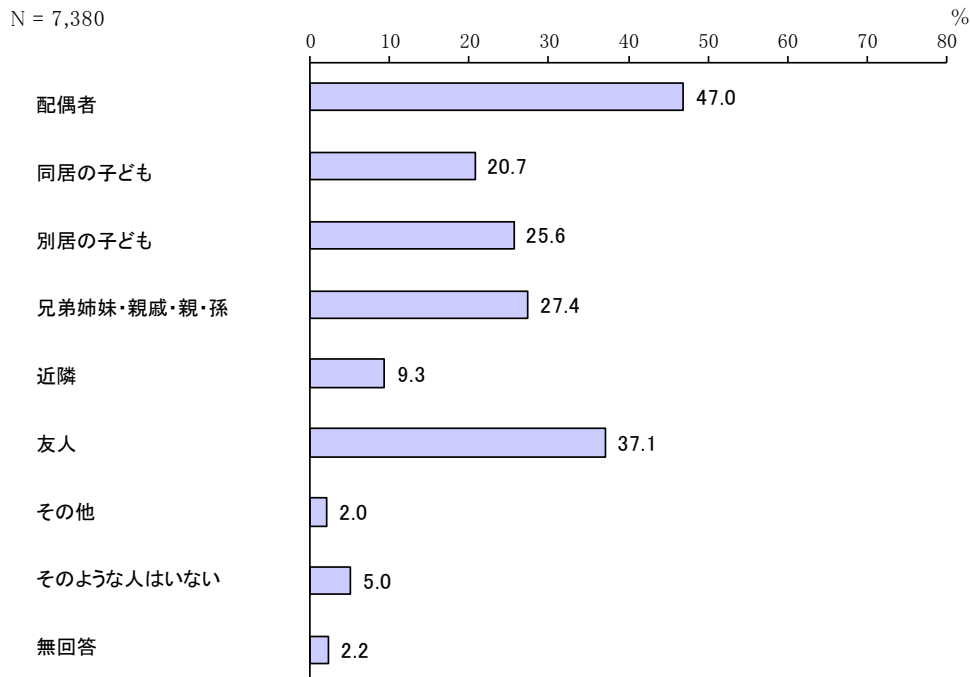
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差異はみられません。



問 24 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が47.0%と最も高く、次いで「友人」の割合が37.1%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が27.4%となっています。



【年齢別】

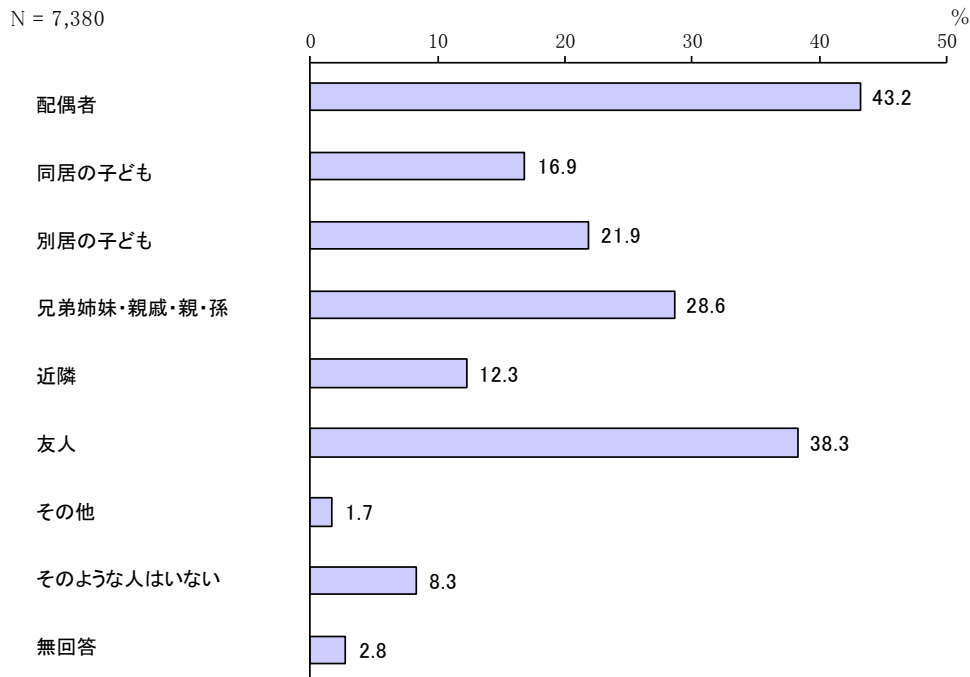
年齢別で見ると、他に比べ、70～74歳、75～79歳で「配偶者」の割合が高く、90歳以上で「同居の子ども」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親・	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
70～74歳	2,508	57.7	17.5	24.8	29.9	9.8	43.5	1.8	4.2	1.1
75～79歳	2,326	50.2	19.9	25.0	28.1	9.8	39.5	1.9	4.8	1.5
80～85歳	1,601	37.4	22.1	25.1	24.9	8.8	32.0	2.1	6.1	3.6
85～90歳	760	27.9	26.1	30.4	24.7	8.3	24.2	2.6	5.0	3.7
90歳以上	183	22.4	39.3	29.5	16.9	6.0	16.4	2.7	8.2	6.0

問 25 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が43.2%と最も高く、次いで「友人」の割合が38.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が28.6%となっています。



【年齢別】

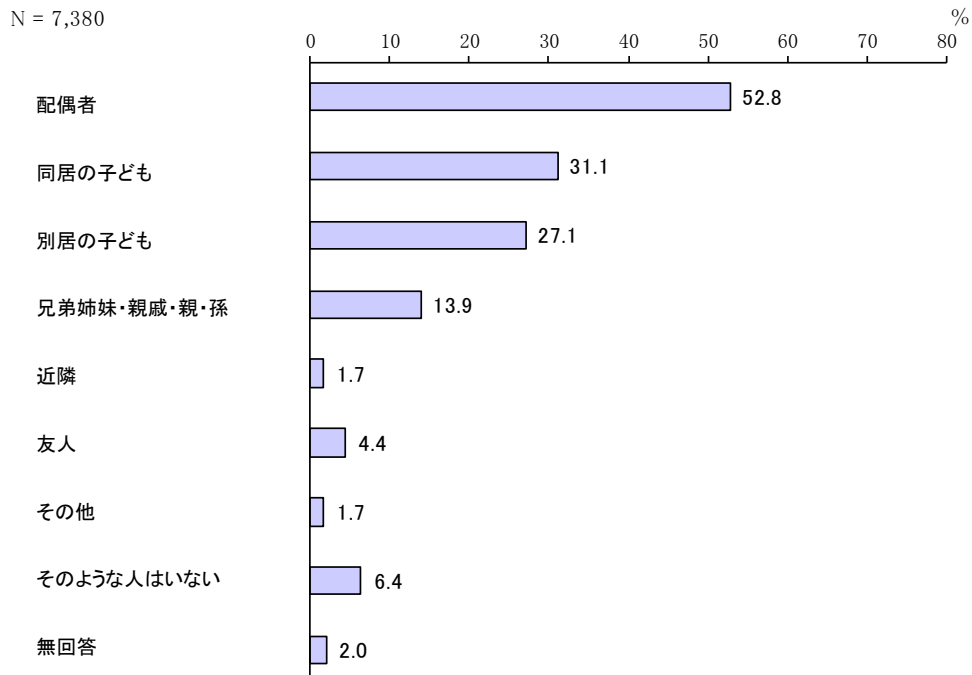
年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて、「配偶者」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「近隣」「友人」の割合が低くなっており、「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	ない そのような人はい	無回答
70～74 歳	2,508	53.3	15.6	24.2	31.5	13.6	43.3	1.7	5.9	1.2
75～79 歳	2,326	45.5	16.9	21.2	30.2	13.3	41.3	1.7	7.3	1.8
80～85 歳	1,601	34.2	16.5	20.4	25.3	11.5	35.2	1.4	9.8	4.4
85～90 歳	760	27.2	19.9	21.2	24.3	7.6	24.7	2.4	12.6	5.8
90 歳以上	183	21.3	26.2	16.4	15.3	7.1	14.2	2.2	20.8	8.7

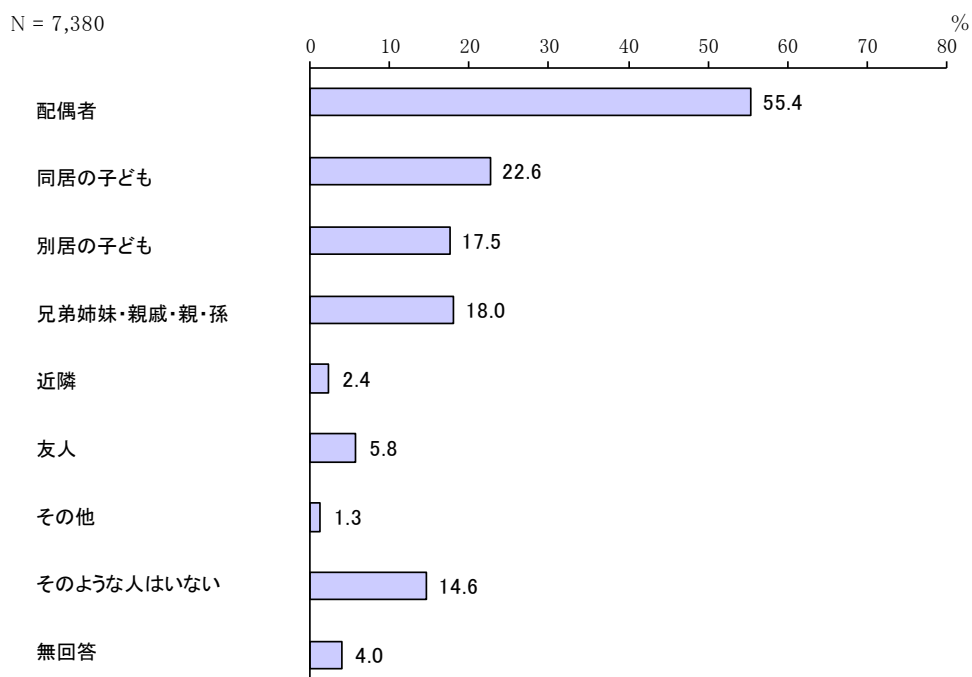
問 26 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が 52.8%と最も高く、次いで「同居の子ども」の割合が 31.1%、「別居の子ども」の割合が 27.1%となっています。



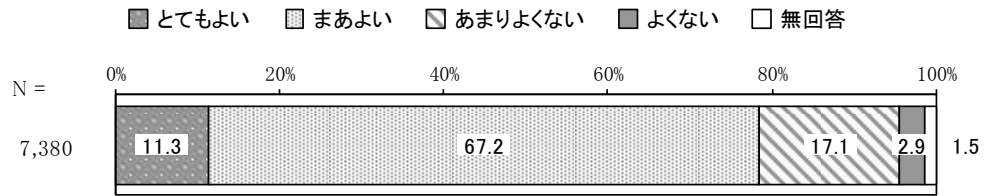
問 27 反対に、看病や世話をしあげる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が 55.4%と最も高く、次いで「同居の子ども」の割合が 22.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が 18.0%となっています。



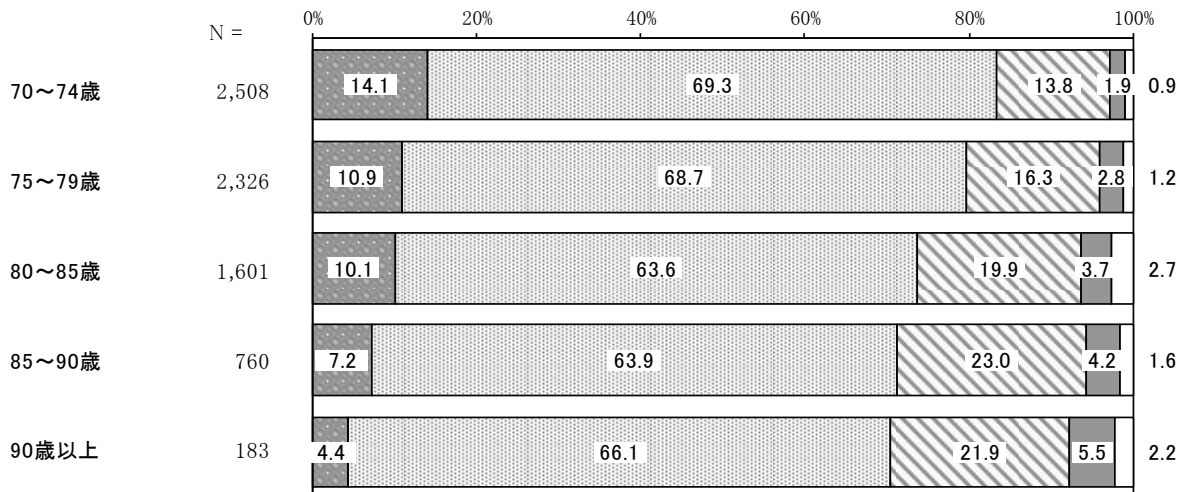
問 28 現在のあなたの健康状態はいかがですか

「まあよい」の割合が 67.2%と最も高く、次いで「あまりよくない」の割合が 17.1%、「とてもよい」の割合が 11.3%となっています。



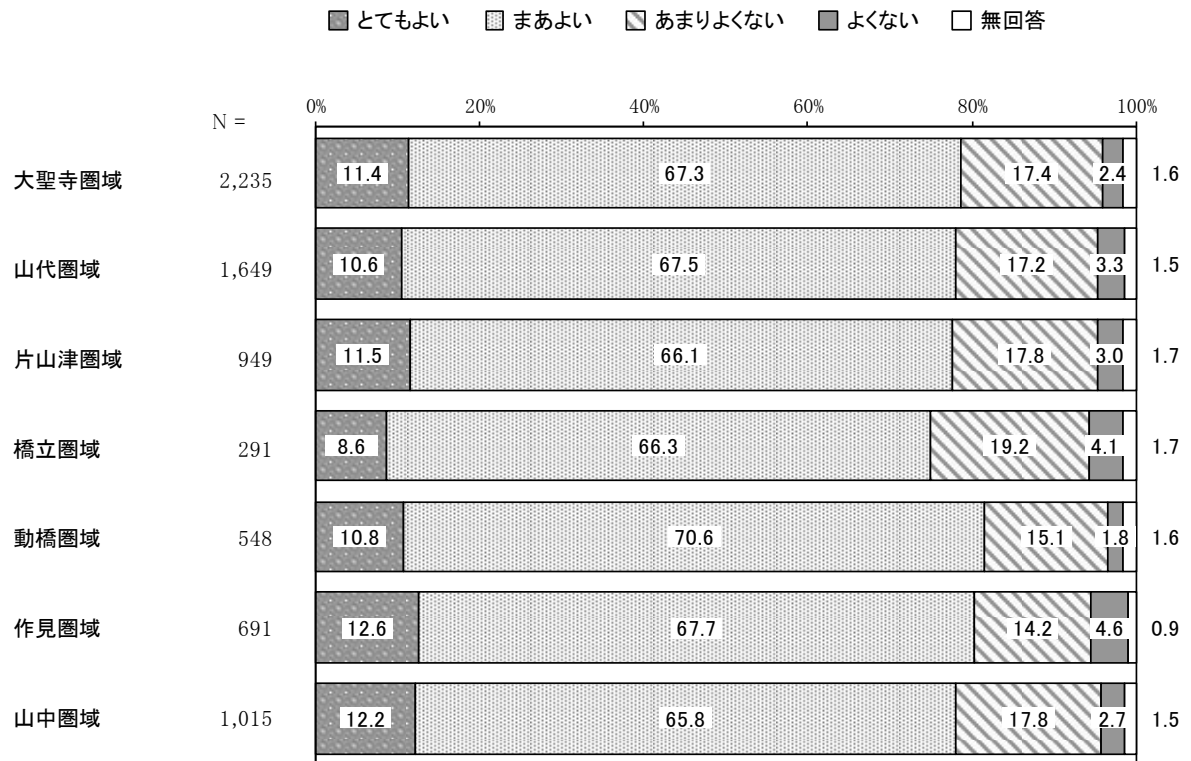
【年齢別】

年齢別で見ると、年齢が高くなるにつれて、「とてもよい」と「まあよい」を合わせた“よい”の割合が低くなっています。



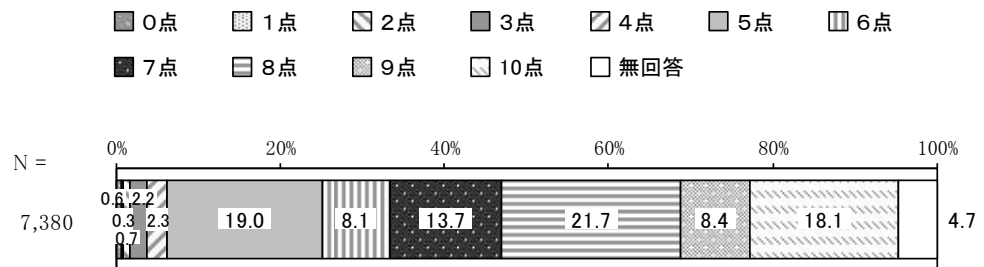
【圏域別】

圏域別でみると、大きな差異はみられません。



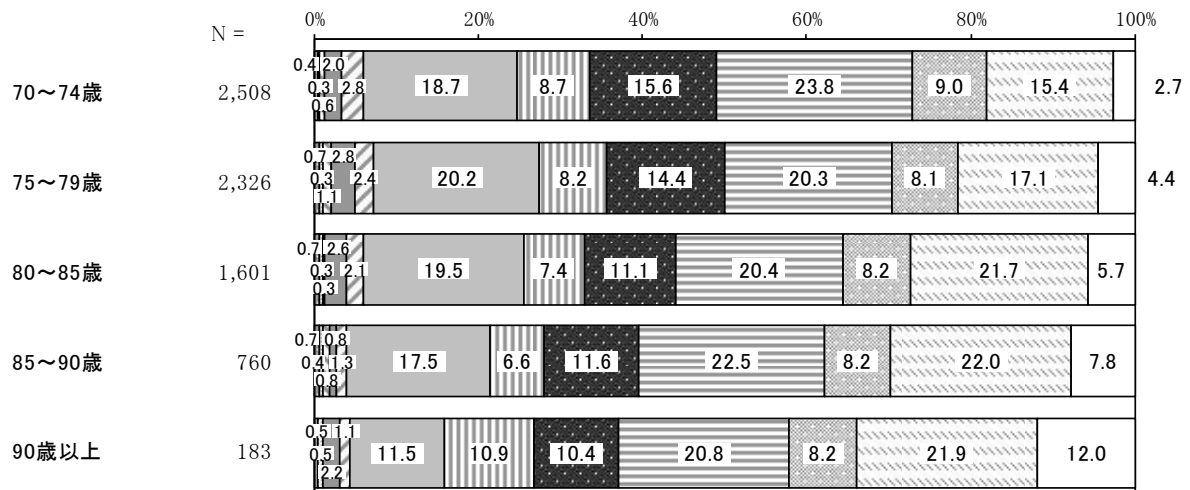
問 29 あなたは、現在どの程度幸せですか

「8点」の割合が21.7%と最も高く、次いで「5点」の割合が19.0%、「10点」の割合が18.1%となっています。

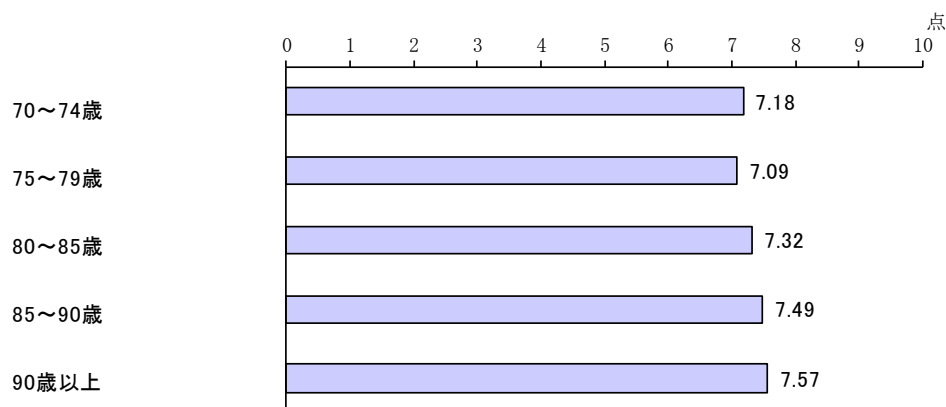


【年齢別】

年齢別でみると、75～79歳以降、年齢が高くなるにつれて「0点」～「5点」の割合が低くなっており、平均点数も高くなっています。

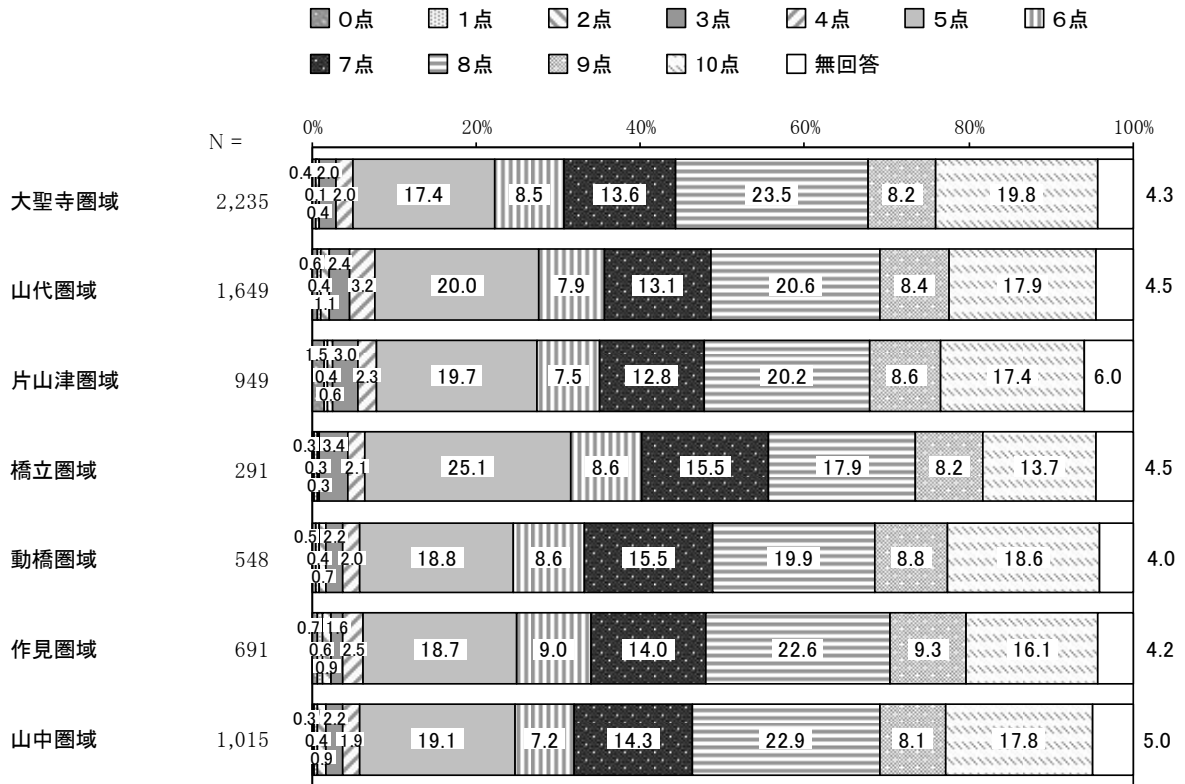


【年齢別（平均点数）】

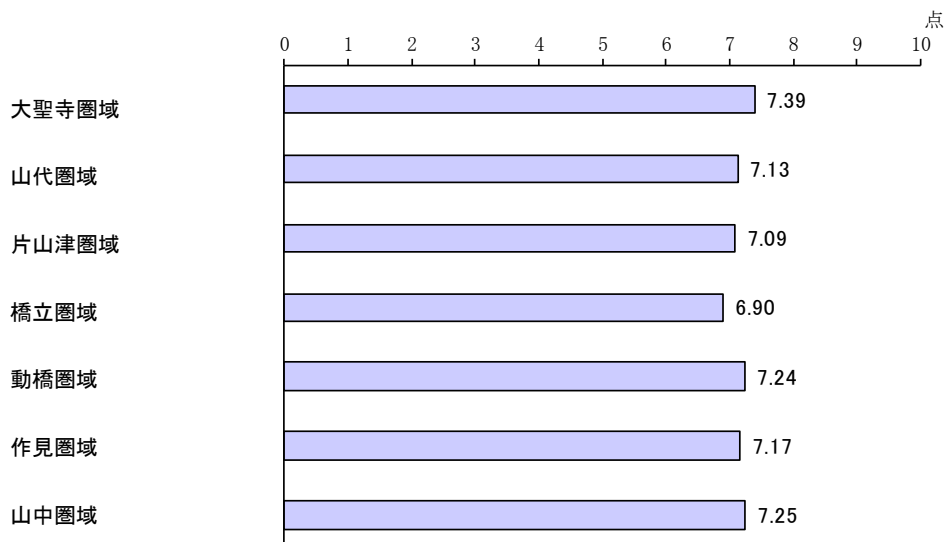


【圏域別】

圏域別でみると、他に比べ、橋立圏域で「5点」の割合が高くなっています。また、平均点数では、大聖寺圏域が最も高く、橋立圏域が最も低くなっています。

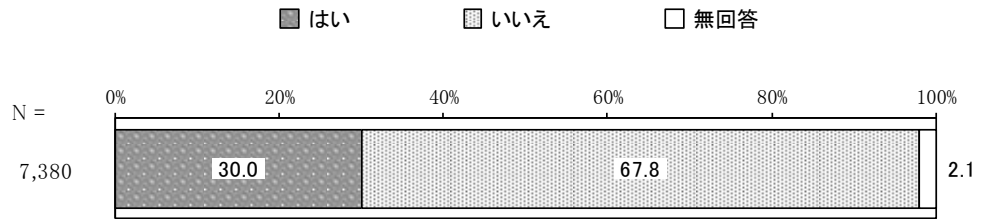


【圏域別（平均点数）】



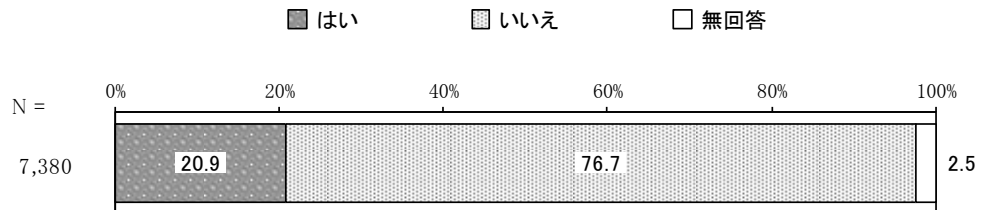
問 30 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

「はい」の割合が30.0%、「いいえ」の割合が67.8%となっています。



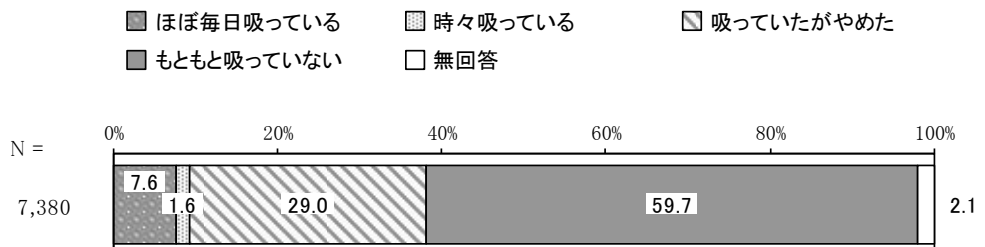
問 31 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

「はい」の割合が20.9%、「いいえ」の割合が76.7%となっています。



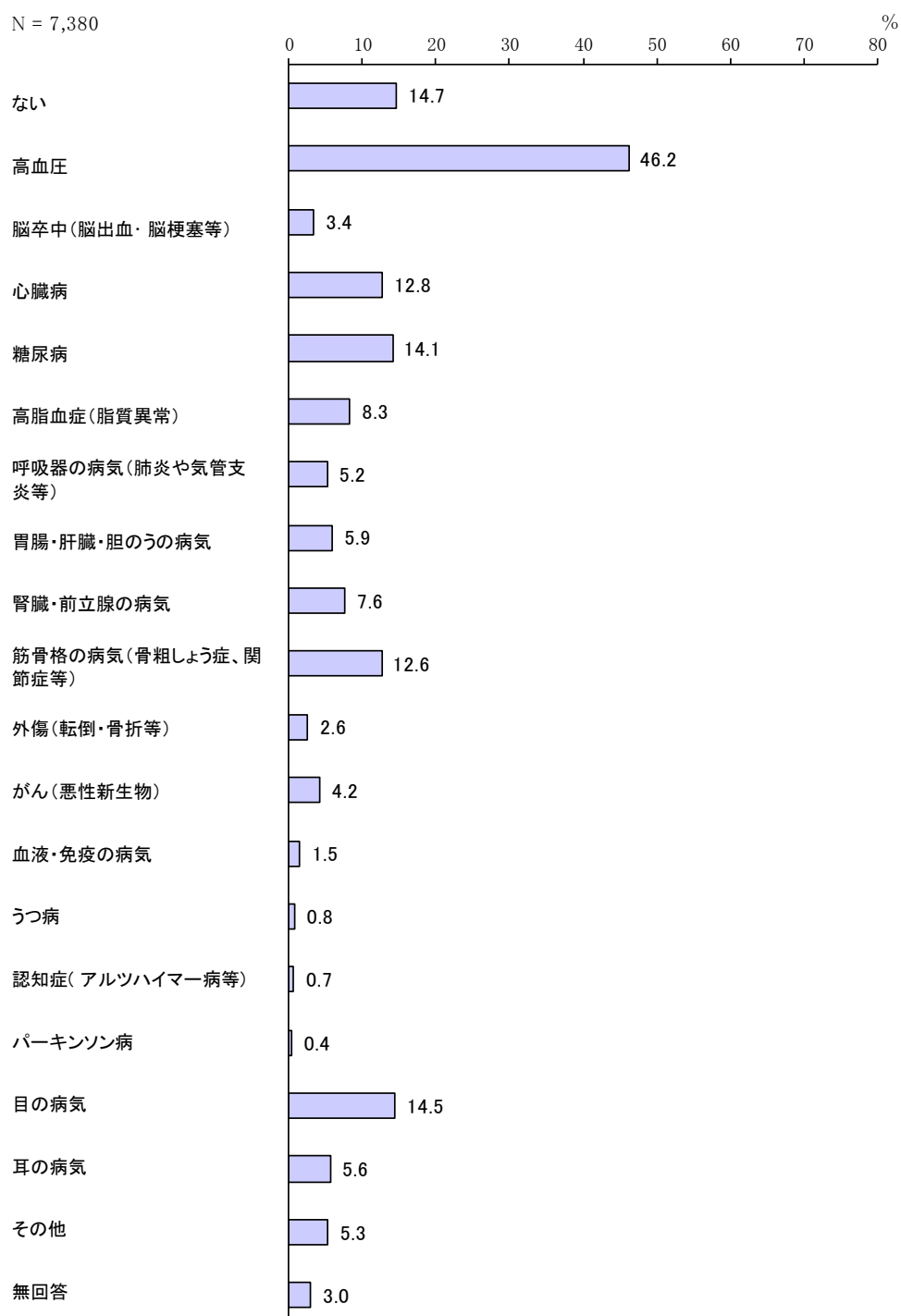
問 32 タバコは吸っていますか

「もともと吸っていない」の割合が59.7%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が29.0%となっています。



問 33 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）

「高血圧」の割合が46.2%と最も高く、次いで「ない」の割合が14.7%、「目の病気」の割合が14.5%となっています。



【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「心臓病」「糖尿病」「腎臓・前立腺の病気」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「高血圧」「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」の割合が高くなっています。

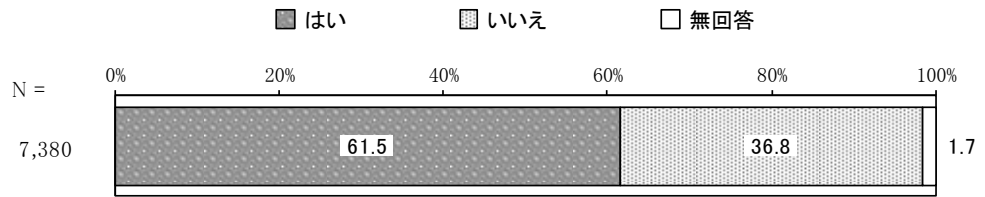
単位：％

区分	有効回答数 (件)	ない	高血圧	脳卒中 塞等)	脳出血・ 脳梗	心臓病	糖尿病	高脂血症 脂質異常)	呼吸器の病気 気管支炎等)	肺炎や	胃腸・肝臓・胆のうの 病気	腎臓・ 前立腺の病気	筋骨格の病気 骨粗し ょう症、 関節症等)
男性	3,030	14.9	43.3	5.1	15.9	19.3	5.8	6.8	7.0	16.2	5.2		
女性	4,348	14.7	48.3	2.2	10.6	10.5	10.1	4.1	5.2	1.5	17.8		

区分	外傷 転倒・ 骨折等)	がん 悪性新生物)	血液・ 免疫の 病気	うつ病	認知症 (アルツ ハイマ ー病等)	パー キンソン 病	目の 病気	耳の 病気	その他	無 回答
男性	1.8	5.8	1.6	0.5	0.9	0.4	14.1	5.9	5.2	2.2
女性	3.2	3.1	1.5	1.0	0.6	0.3	14.7	5.3	5.4	3.6

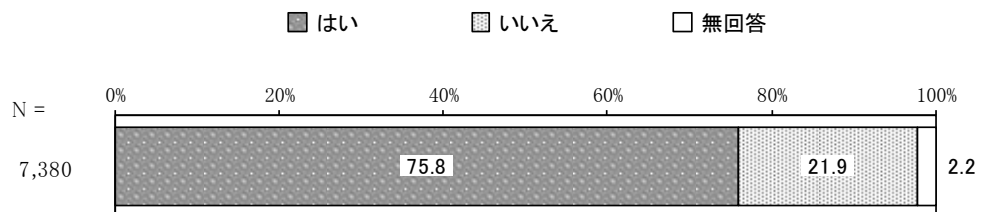
問 34 友人の家を訪ねていますか

「はい」の割合が61.5%、「いいえ」の割合が36.8%となっています。



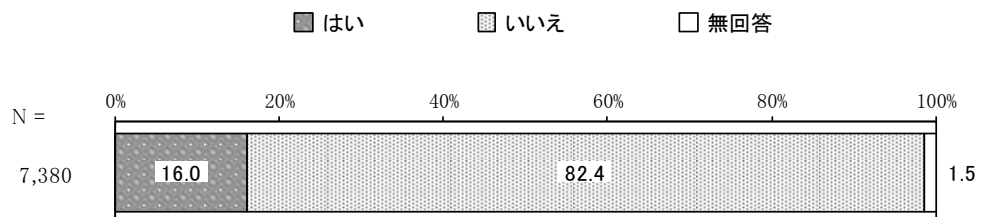
問 35 家族や友人の相談にのっていますか

「はい」の割合が75.8%、「いいえ」の割合が21.9%となっています。



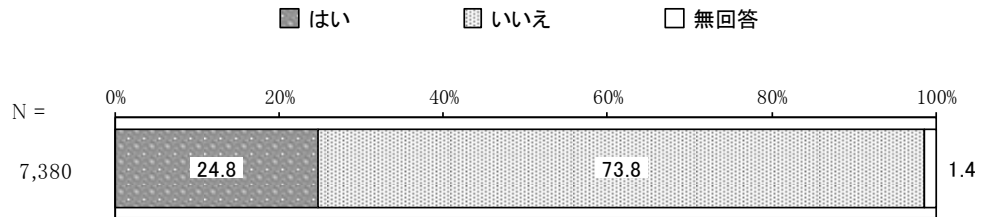
問 36 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

「はい」の割合が16.0%、「いいえ」の割合が82.4%となっています。



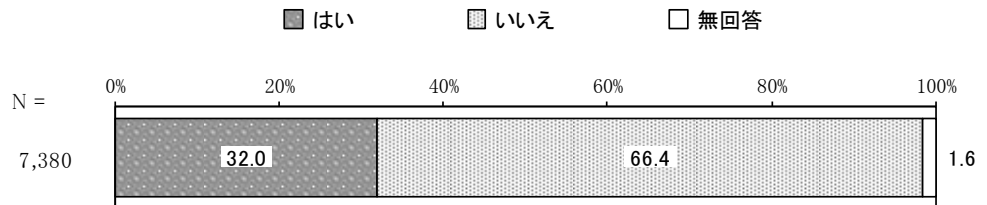
問 37 汁物等でむせることがありますか

「はい」の割合が24.8%、「いいえ」の割合が73.8%となっています。



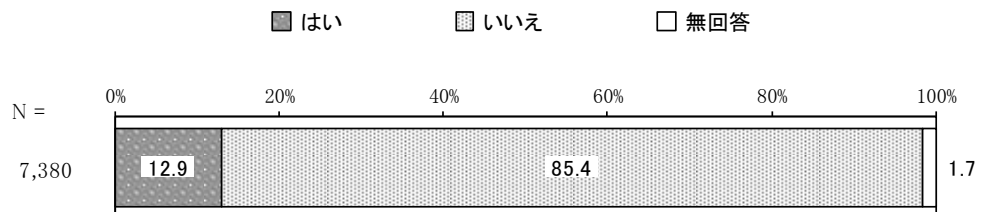
問 38 口の渇きが気になりますか

「はい」の割合が32.0%、「いいえ」の割合が66.4%となっています。



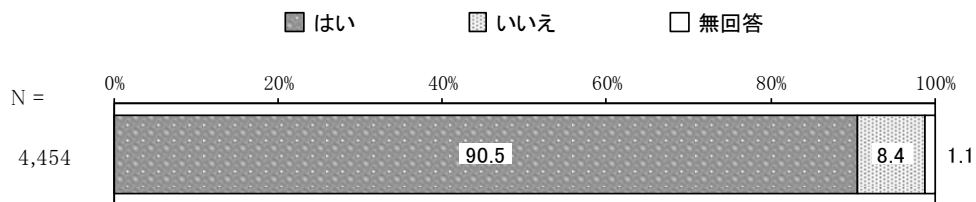
問 39 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか

「はい」の割合が12.9%、「いいえ」の割合が85.4%となっています。



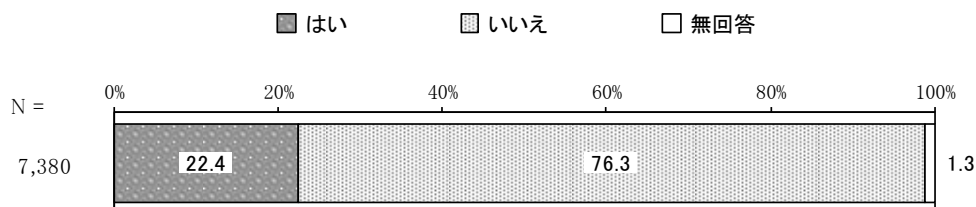
問 40 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

「はい」の割合が90.5%、「いいえ」の割合が8.5%となっています。



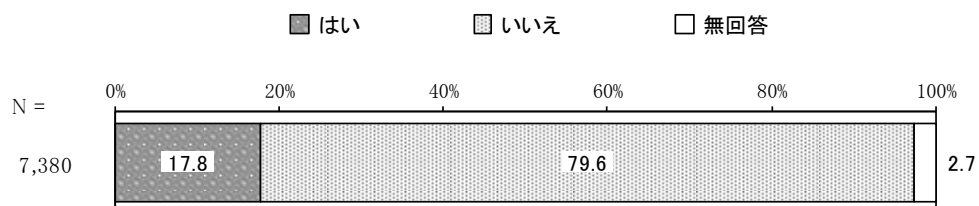
問 41 今日が何月何日かわからない時がありますか

「はい」の割合が22.4%、「いいえ」の割合が76.3%となっています。



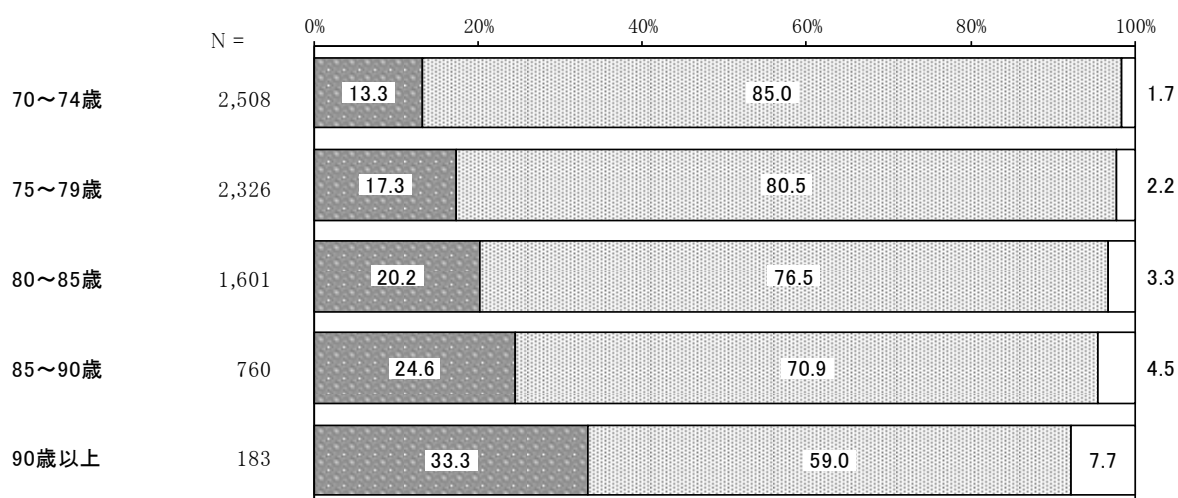
問 42 毎日の生活に充実がない

「はい」の割合が17.8%、「いいえ」の割合が79.6%となっています。



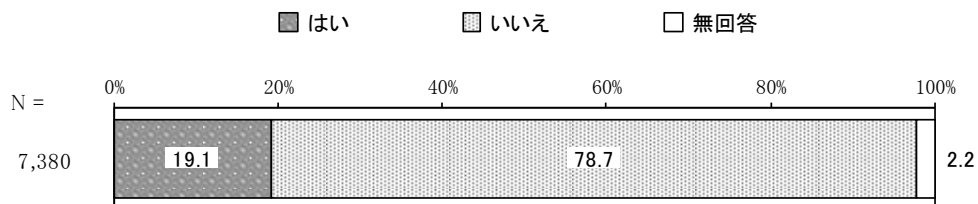
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて、「はい」の割合が高くなっています。



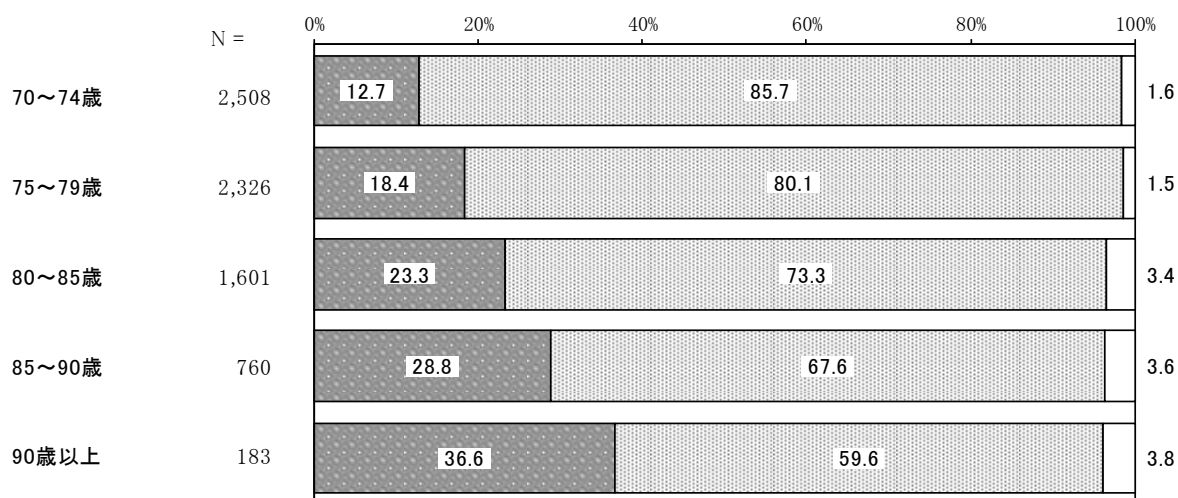
問 43 これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった

「はい」の割合が19.1%、「いいえ」の割合が78.7%となっています。



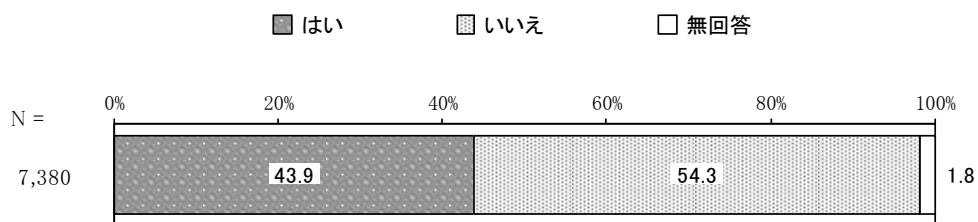
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて、「はい」の割合が高くなっています。



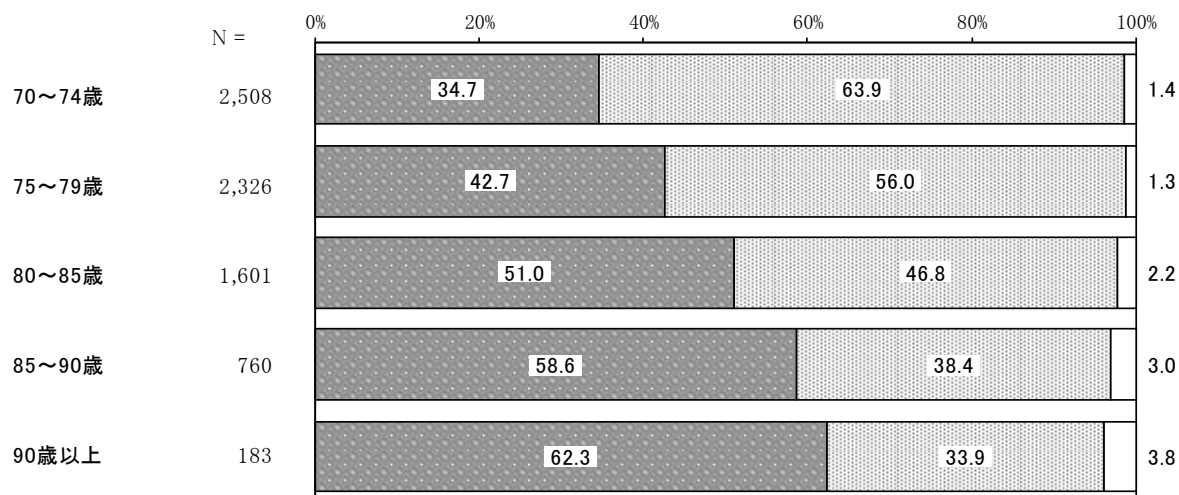
問 44 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる

「はい」の割合が43.9%、「いいえ」の割合が54.3%となっています。



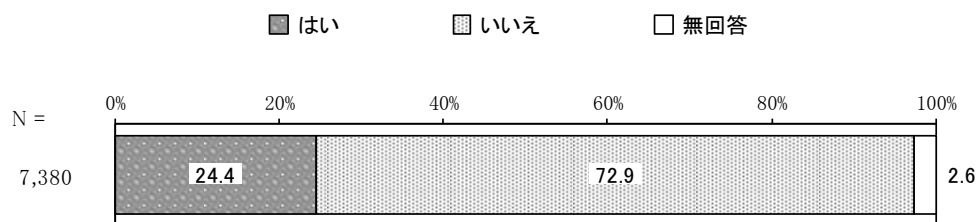
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて、「はい」の割合が高くなっています。



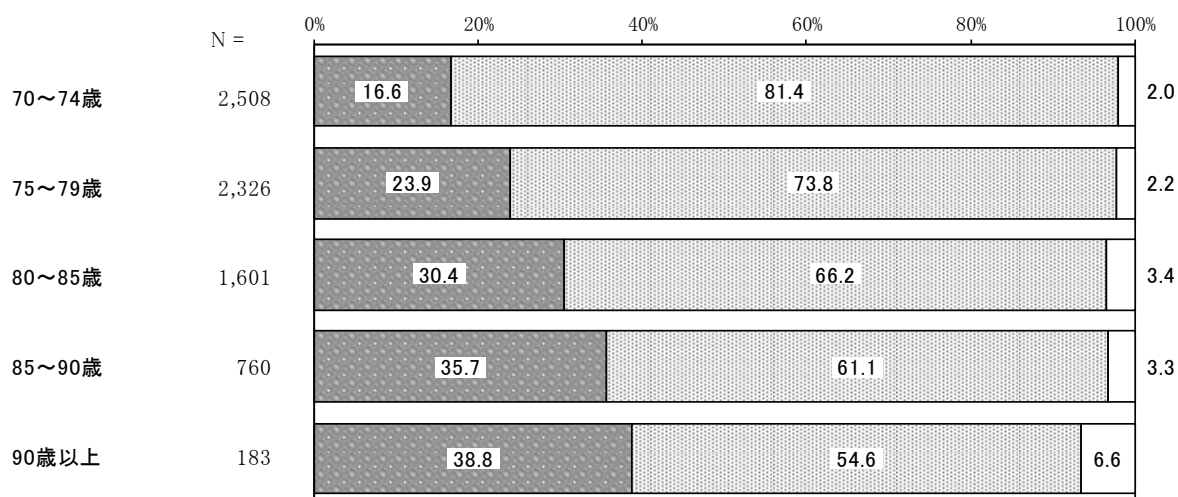
問 45 自分が役にたつ人間だとは思えない

「はい」の割合が24.4%、「いいえ」の割合が72.9%となっています。



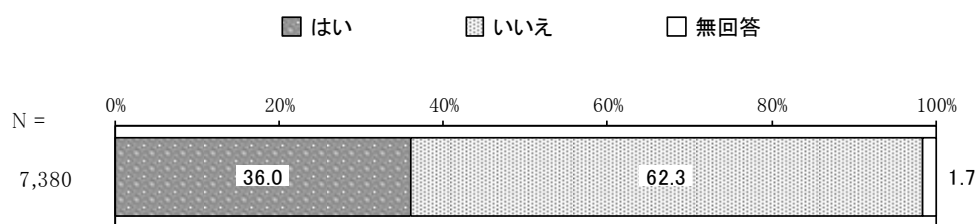
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて、「はい」の割合が高くなっています。



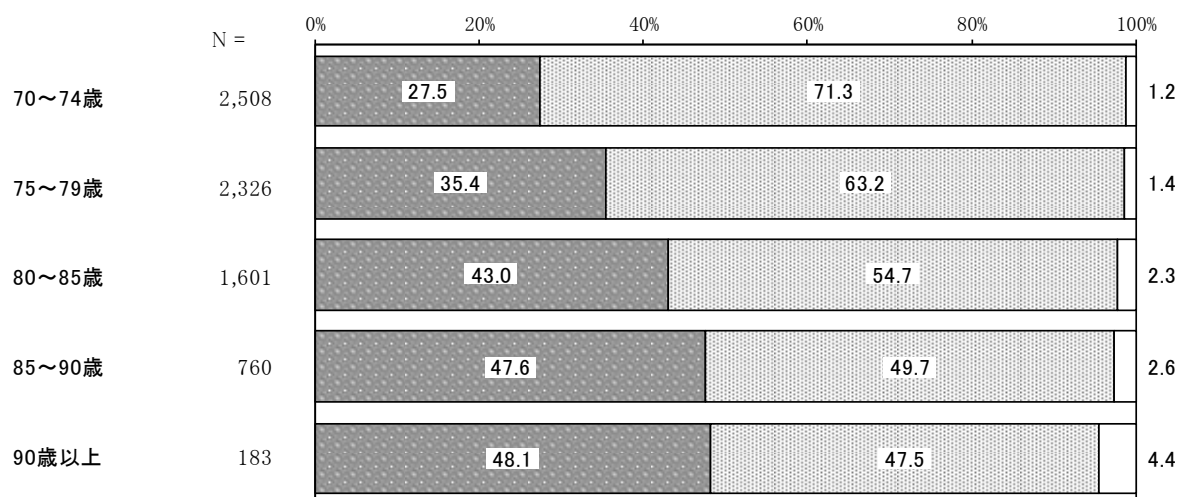
問 46 わけもなく疲れたような感じがする

「はい」の割合が36.0%、「いいえ」の割合が62.3%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて、「はい」の割合が高くなっています。



(3) 生活機能評価等に関する分析

①運動器

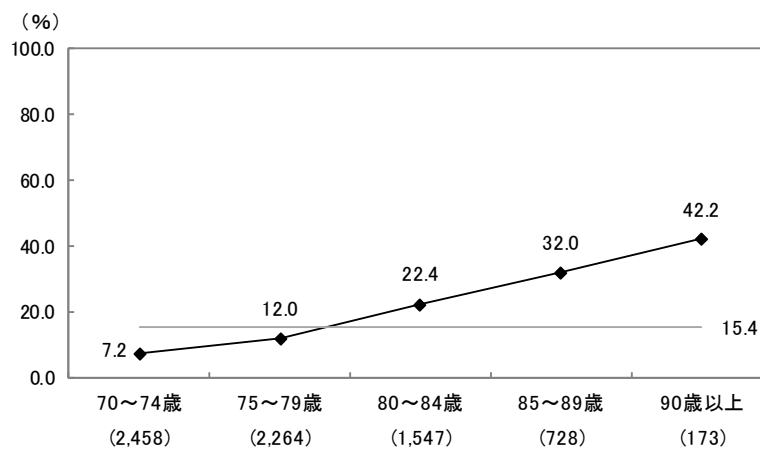
国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問4	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
問5	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
問6	15分位続けて歩いていますか。	3. できない
問7	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
問8	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

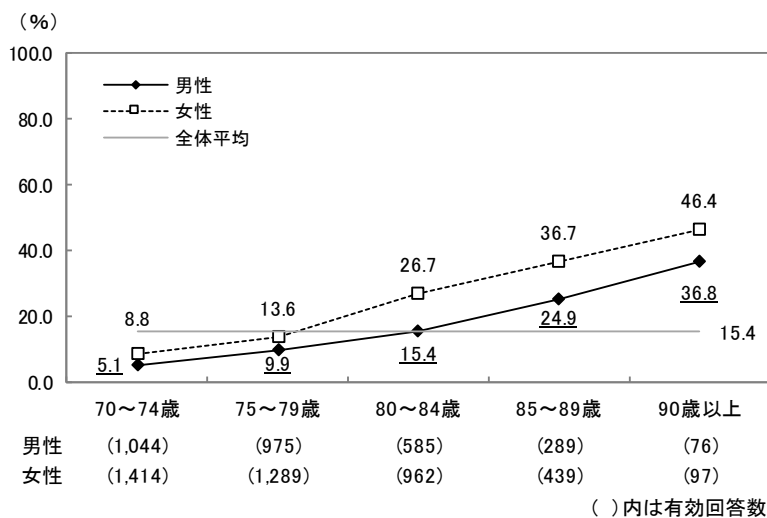
国の手引きに基づく運動器の評価結果をみると、全体平均では、15.4%が運動器のリスク該当者となっています。

特に80～84歳以降で割合の増加が大きくなり、80～84歳では22.4%と、全体平均よりも高くなっています。



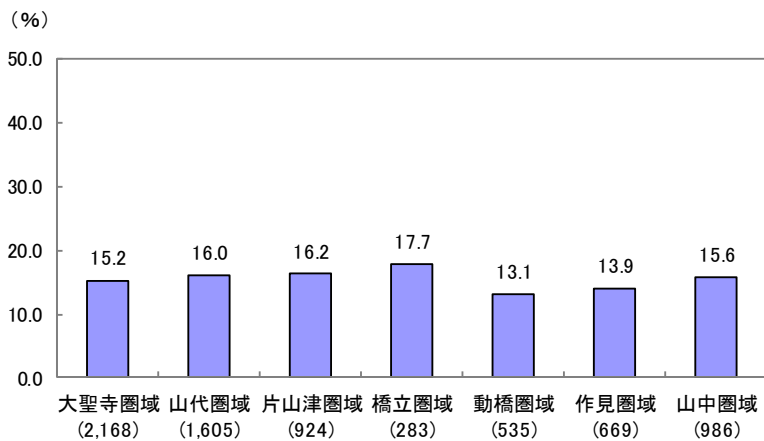
性別・年齢階級別にみると、どの年代も男性に比べ、女性で割合が高くなっています。80～84歳、85～89歳では、10ポイント以上の差となっています。

【性別・年齢階級別】



圏域別にみると、橋立圏域で17.7%と最も高く、次いで、片山津圏域で16.2%、山代圏域で16.0%となっています。また、最も低い圏域は動橋圏域で13.1%となっています。

【圏域別】



②閉じこもり

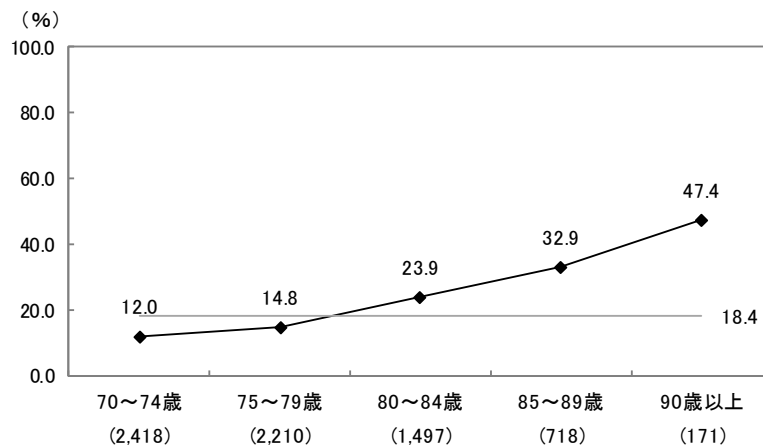
国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を閉じこもりのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問9	週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

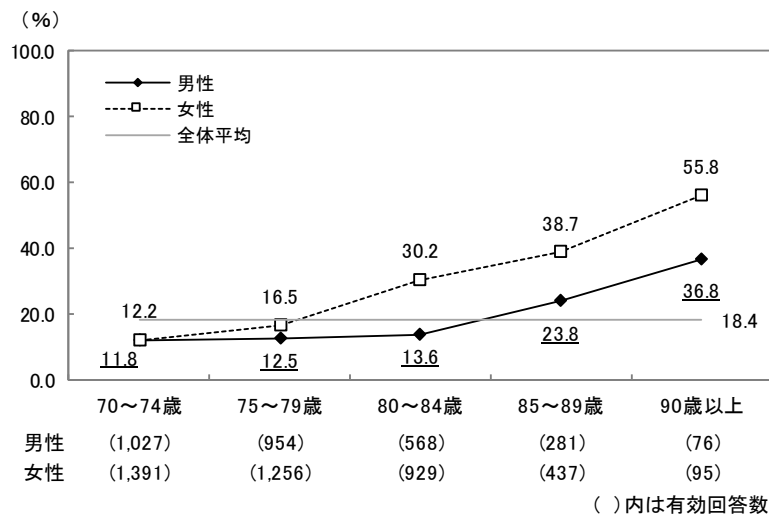
国の手引きに基づく閉じこもりの評価結果をみると、全体平均では、18.4%が閉じこもりのリスク該当者となっています。

特に80～84歳以降で割合の増加が大きくなり、80～84歳では23.9%と、全体平均よりも高くなっています。90歳以上では、47.4%となっています。



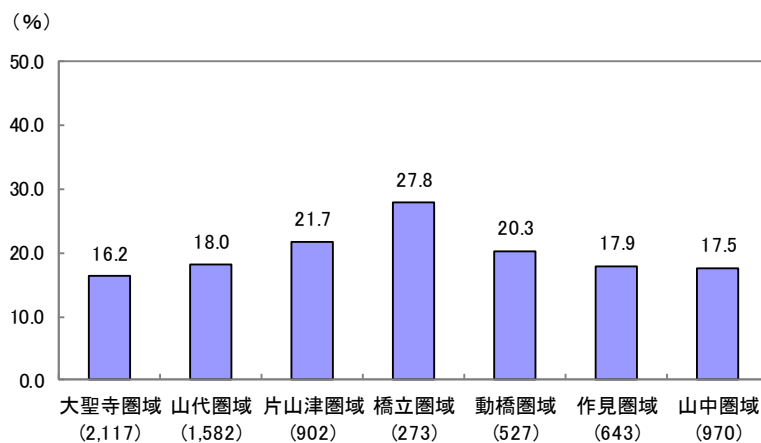
性別・年齢階級別にみると、どの年代も男性に比べ、女性で割合が高くなっています。特に女性では、80～84歳で割合が大きく増加し、30.2%となっています。また、75～79歳までは男性、女性とも大きく変わりませんが、80～84歳では女性が男性に比べ、16.6ポイント高くなっています。

【性別・年齢階級別】



圏域別にみると、橋立圏域で27.8%と最も高く、次いで、片山津圏域で21.7%、動橋圏域で20.3%となっています。また、最も低い圏域は大聖寺圏域で16.2%となっています。

【圏域別】



③転倒

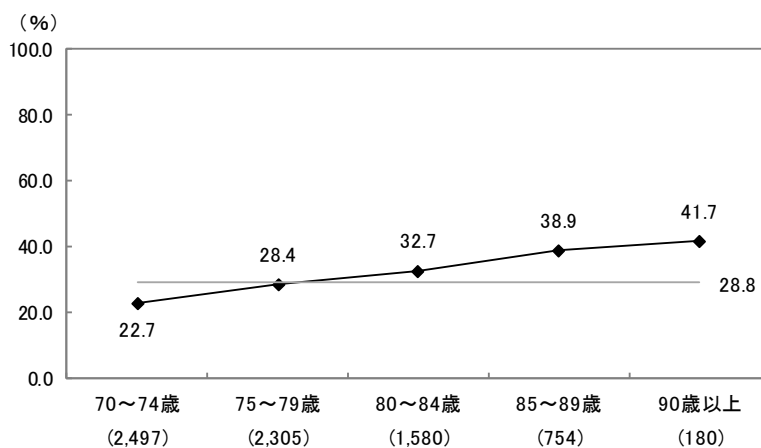
国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を転倒のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問7	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある

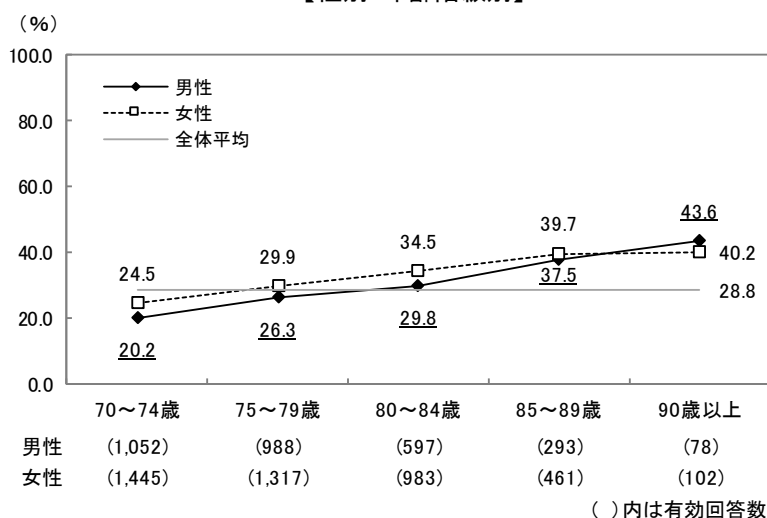
国の手引きに基づく転倒の評価結果をみると、全体平均では、28.8%が転倒のリスク該当者となっています。

80～84歳で全体平均を上回っており、また、85～89歳で最も割合の増加が大きくなっています。



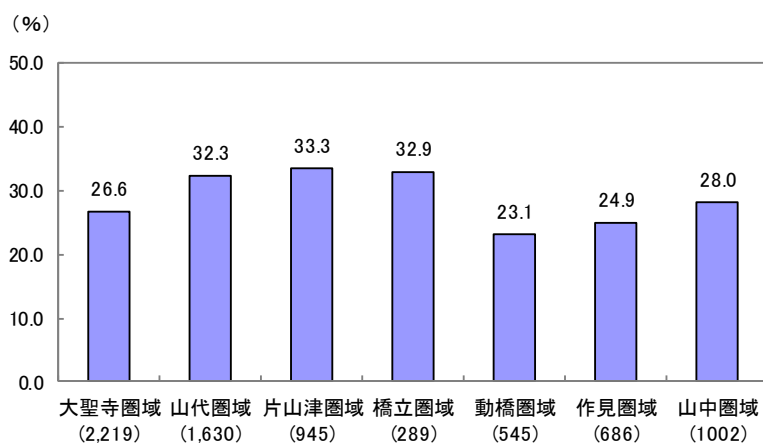
性別・年齢階級別にみると、90歳以上を除き、男性に比べ、女性で割合がわずかに高くなっています。女性では75～79歳以降、全体平均を上回る状態が続く一方、男性では85～89歳で大きく割合が高くなっています。男性では、85～89歳で37.5%と、80～84歳に比べ、7.7ポイント高くなっています。

【性別・年齢階級別】



圏域別にみると、片山津圏域で33.3%と最も高く、次いで、橋立圏域で32.9%、山代圏域で32.3%となっています。また、最も低い圏域は動橋圏域で23.1%となっています。

【圏域別】



④低栄養

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のすべてに該当する人を低栄養のリスク該当者と判定しました。

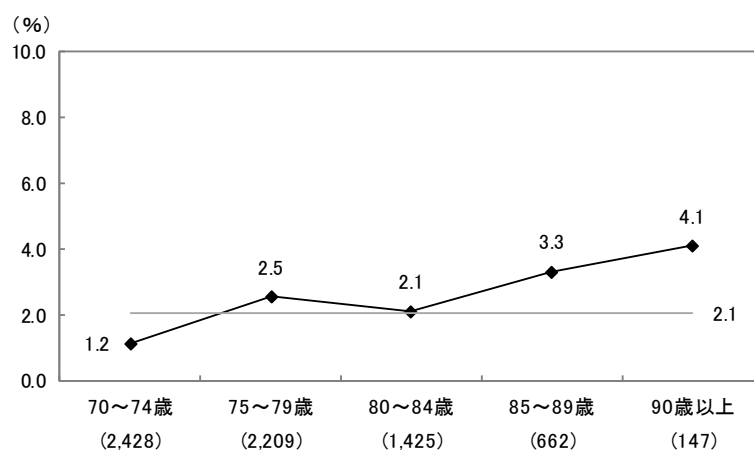
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 11	身長・体重をご記入ください。	BMI18.5 未満
問 36	6か月間で2～3kg 以上の体重減少がありましたか。	1. はい

【リスク該当状況】

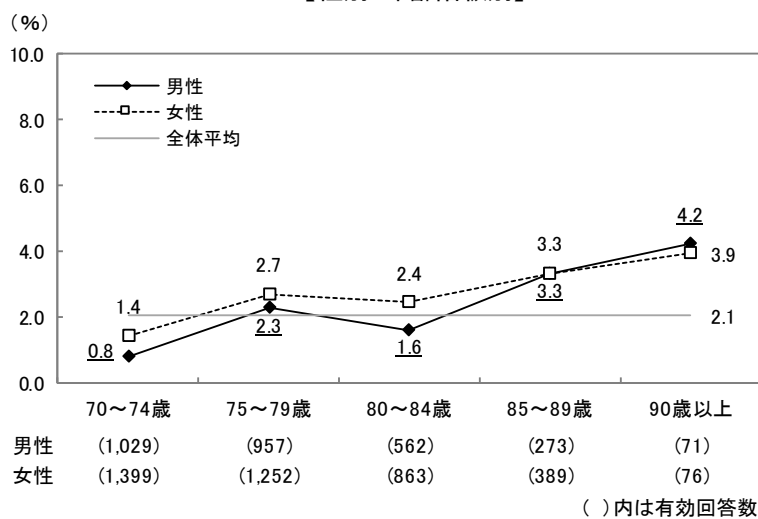
国の手引きに基づく低栄養の評価結果をみると、全体平均では、2.1%が低栄養のリスク該当者となっています。

75～79歳で全体平均を上回っており、最も割合の増加が大きくなっています。



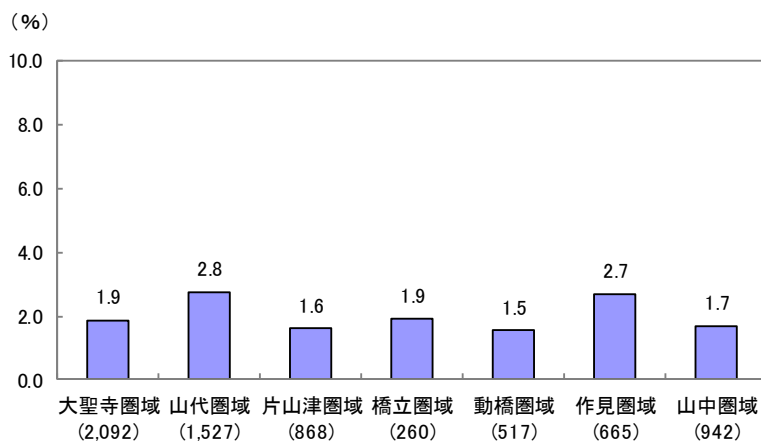
性別・年齢階級別にみると、女性では75～79歳で2.7%と全体平均を上回り、以降、全体平均を上回る状態が続きます。男性では、90歳以上で4.2%と全体平均を大きく上回っています。

【性別・年齢階級別】



圏域別にみると、山代圏域で2.8%と最も高く、次いで、作見圏域で2.7%となっています。また、最も低い圏域は動橋圏域で1.5%となっています。

【圏域別】



⑤口腔

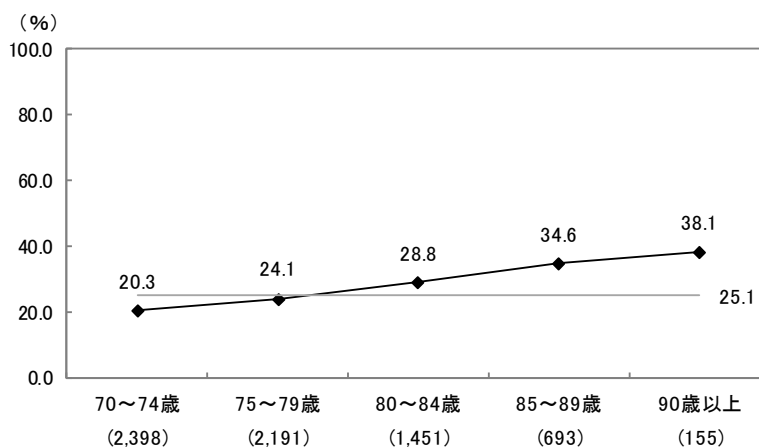
国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、3項目のうち2項目以上に該当する人を口腔のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

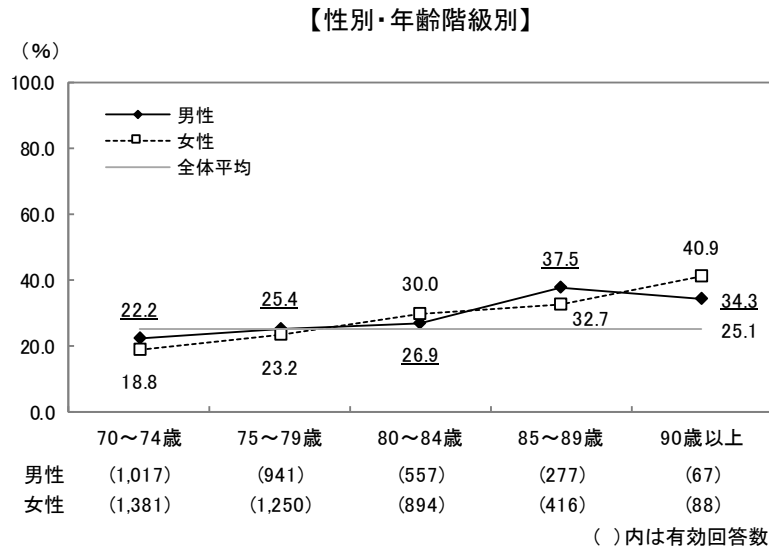
問番号	設問	該当する選択肢
問 12	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい
問 37	お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい
問 38	口の渇きが気になりますか。	1. はい

国の手引きに基づく口腔の評価結果をみると、全体平均では、25.1%が口腔のリスク該当者となっています。

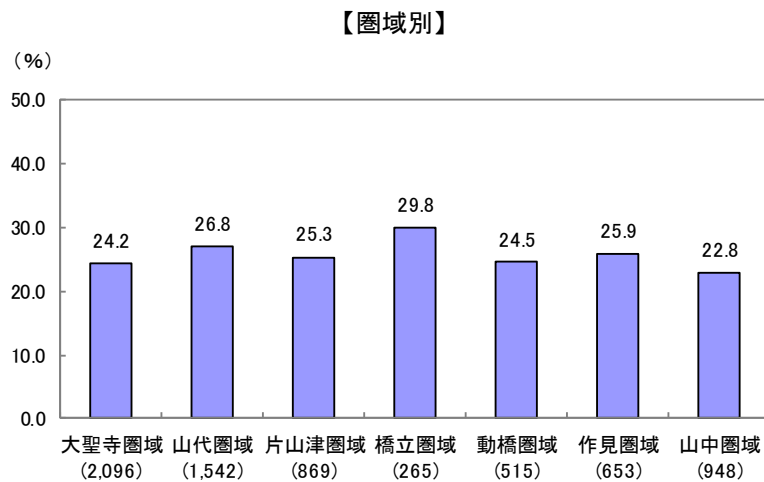
年齢階級が高くなるにつれ、リスク該当の割合がほぼ一定の割合で増加する傾向にあります。



性別・年齢階級別にみると、男性では85～89歳で37.5%と、80～84歳に比べ10.6ポイント高くなっています。一方、女性では年齢が高くなるにつれて割合が増加しており、80～84歳、90歳以上で男性を上回っています。



圏域別にみると、橋立圏域で29.8%と最も高く、次いで、山代圏域で26.8%、作見圏域で25.9%となっています。また、最も低い圏域は山中圏域で22.8%となっています。



⑥認知

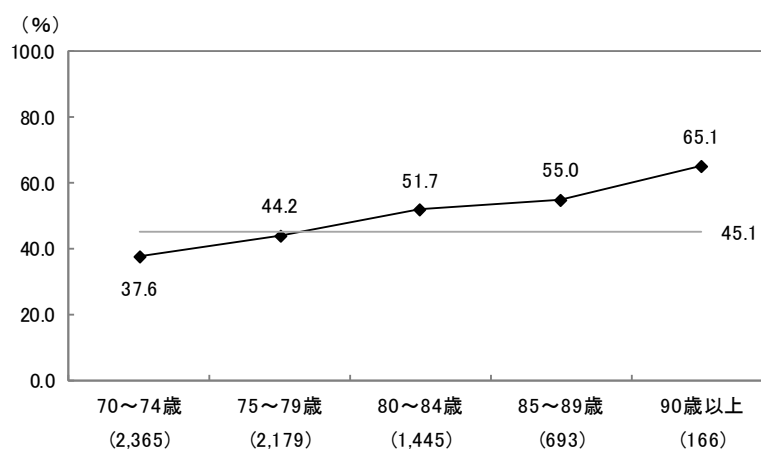
国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、以下の項目に該当する人を認知のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

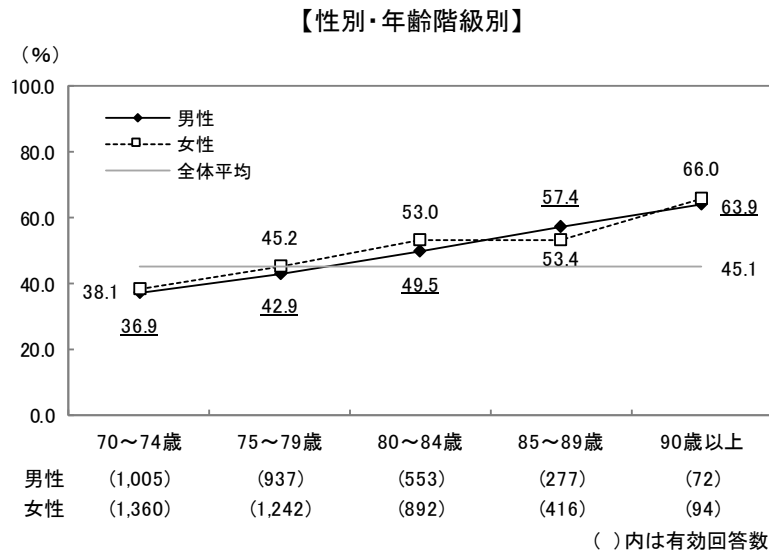
問番号	設問	該当する選択肢
問 15	物忘れが多いと感じますか。	1. はい

国の手引きに基づく認知の評価結果をみると、全体平均では、45.1%が認知のリスク該当者となっています。

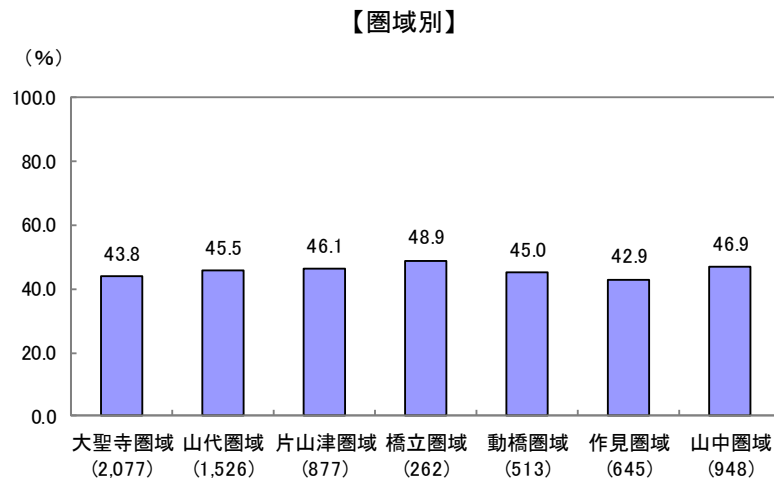
年齢階級が高くなるにつれ、リスク該当の割合が増加しています。80～84歳で全体平均を上回り、比較的早い年代からリスクの上昇がはじまります。また、90歳以上で特に割合が大きく増加し、90歳以上で65.1%と、85～89歳に比べ、10.1ポイント増加しています。



性別・年齢階級別にみると、女性では85～90歳で割合の増加がゆるやかになるものの、その後90歳以上で大きく増加しています。また、男性では、ほぼ一定の割合で増加しています。



圏域別にみると、橋立圏域で48.9%と最も高く、次いで、山中圏域で46.9%、片山津圏域で46.1%となっています。また、最も低い圏域は作見圏域で42.9%となっています。



⑦うつ

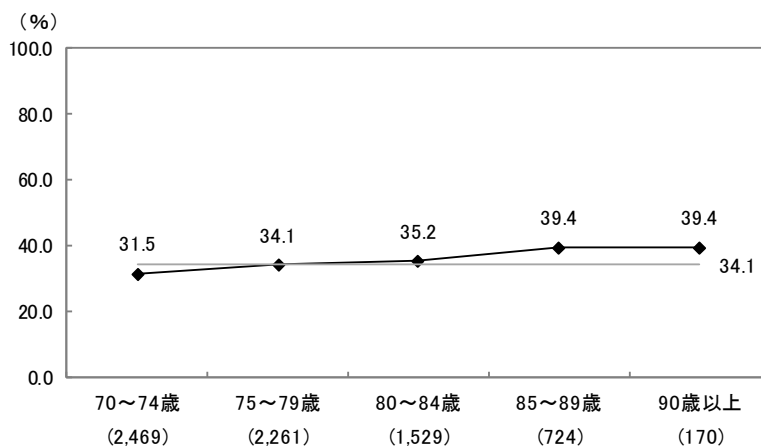
国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のうち1項目以上に該当する人をうつのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

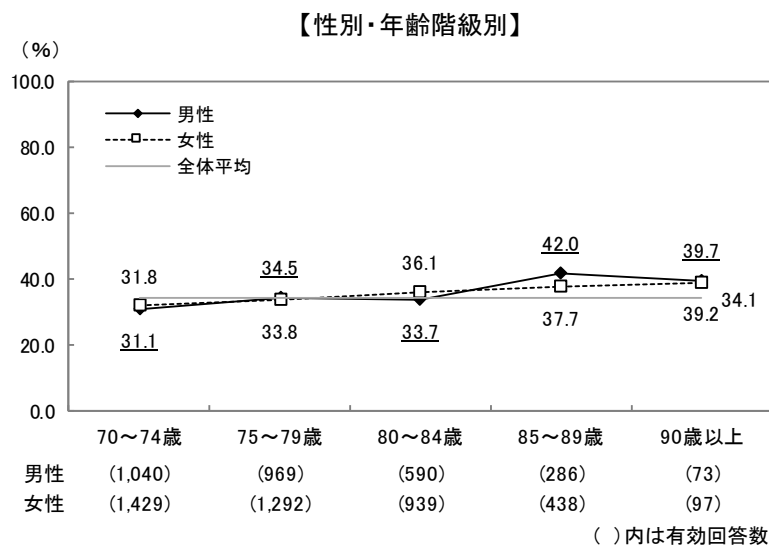
問番号	設問	該当する選択肢
問 30	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい
問 31	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい

国の手引きに基づくうつの評価結果をみると、全体平均では、34.1%がうつのリスク該当者となっています。

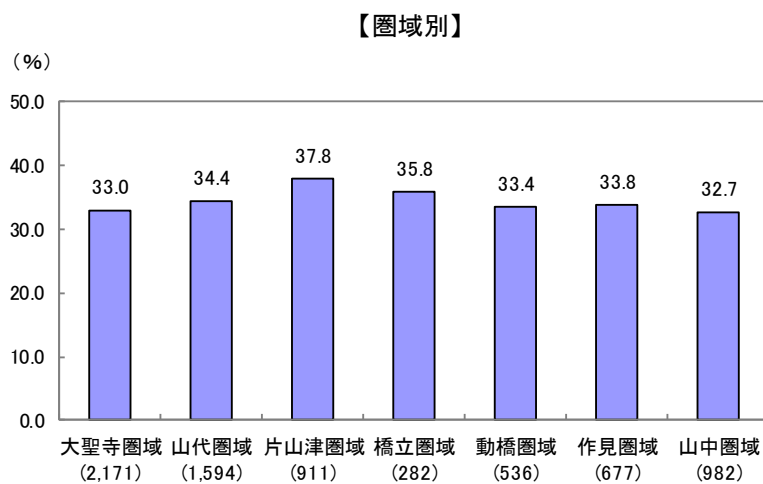
年齢階級別でみると、ほぼ横ばいで推移しています。



性別・年齢階級別にみると、男性では、85～89歳で増加が顕著となり、85～89歳では42.0%と80～84歳に比べ、8.3ポイント増加しています。



圏域別にみると、片山津圏域で37.8%と最も高く、次いで、橋立圏域で35.8%、山代圏域で34.4%となっています。また、最も低い圏域は山中圏域で32.7%となっています。



⑧手段的自立度（IADL）

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標には、高齢者の手段的自立度（IADL）に関する設問が5問あり、「手段的自立度（IADL）」として尺度化されています。

評価は、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価しています。

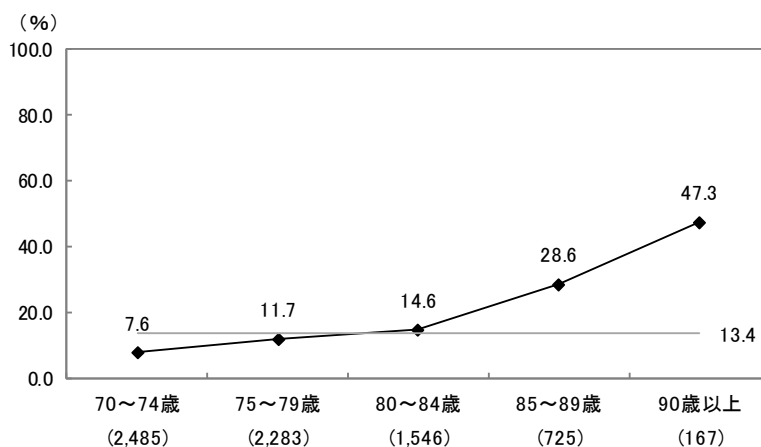
また、4点以下を手段的自立度の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 16	バスや電車を使って1人で外出していますか。	1. できるし、している:1点 2. できるけどしていない:1点
問 17	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	1. できるし、している:1点 2. できるけどしていない:1点
問 18	自分で食事の用意をしていますか。	1. できるし、している:1点 2. できるけどしていない:1点
問 19	自分で請求書の支払いをしていますか。	1. できるし、している:1点 2. できるけどしていない:1点
問 20	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	1. できるし、している:1点 2. できるけどしていない:1点

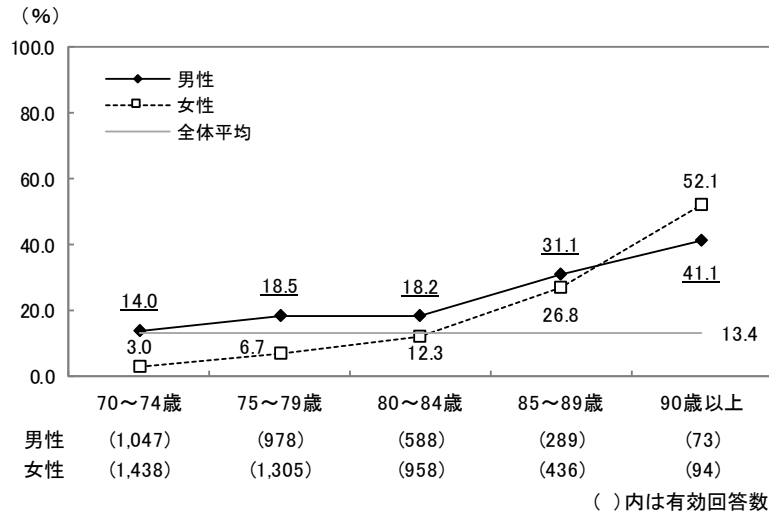
手段的自立度（IADL）の評価結果をみると、全体平均では、13.4%が手段的自立度（IADL）の低下者となっています。

85～89歳以降で大きく割合が増加しており、85～89歳で28.6%と、80～84歳に比べ、14.0ポイント増加しています。



性別・年齢階級別にみると、男性ではどの年齢階級でも全体平均を上回っています。女性では、80～84歳までは割合が低くなっていますが、85～89歳以降で急激に割合が増加し、90歳以上では、女性が男性を上回っています。

【性別・年齢階級別】



圏域別にみると、橋立圏域、動橋圏域で14.7%と最も高く、次いで、大聖寺圏域で14.3%となっています。また、最も低い圏域は作見圏域で12.1%となっています。

【圏域別】

